

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第１回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年４月２０日（木） 午後４時２０分から午後５時４０分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１５人（総数２２人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、甲斐副会長、 徳江委員、甘粕（勇）委員、飯森委員、岡田委員、 阪井委員、岩田委員、桐生委員、渡辺委員、近藤委員、 山口委員、塚田氏（三觜副会長代理） 事務局：７人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、 吉岡
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会からの報告 ア ボランティアセンター運営委員会 議事録のとおり イ 青少年健全育成部会 議事録のとおり ウ 広報ワーキング 徳江委員が加入。ポータルサイトの操作学習を、テスト環境で行っており、今後、各地域団体へ操作を伝えていく。また、掲載が可能となったら、地区内の情報掲載を検討している。広報ワーキングの活動をリリース予定。 エ 郷土文化推進部会 江ノ島道整備事業で設置した箇所を歩いて点検した。その結果については事務局に報告した。 オ 人材・情報バンクセンター運営委員会 委員長の変更を報告。４月から新たに就任したコーディネーター３人のうち１人が辞退した。後任を探している。 らぶらぶ片瀬第３４号発行に向けた作成作業を行っている。 （３）各地域団体からの報告 ア 片瀬一市民スポーツの会 ５月２７日にソフトボール大会を片瀬中学校で開催。

報 告	地区レクリエーション大会は、１０月１５日に片瀬小学校で開催することが決定。また、雨天の場合、予備日は設けず中止。詳細は後日報告したい。 イ 片瀬地区生活環境協議会 ４月１５日のクリーンキャンペーンは雨天中止となった。 ５月２８日は、ゴミゼロクリーンキャンペーンがあるのでご協力をお願いしたい。 ウ 片瀬地区社会福祉協議会 ３月末で地域福祉に関するアンケート受付が終了し、集計を行う。結果については６月頃の報告を予定。
議 題	４ 議題 (１) 令和５年度の事業計画について (資料)
議題での検討事項・意見	(１) 防災、福祉、自治町内会が今年度のテーマ。地区内では、自主防災協議会や社会福祉協議会などがそれぞれ活動を行っているが、社協が行ったアンケート結果を基に、他の地域団体と協働することで、横の連携を図りながら課題解決に向けて意見交換を図り、取組んでいく必要がある。 (２) 若い人は娯楽、仕事で外に出ていることが多い。関心を持って集まってくれる機会として、協議会がテーマを決め呼びかけるのではなく、身の回りの若い世代で構わないので集まってもらい、どのようにしたら良いのかを直接聞いてみてはどうか。協議会の場で話し合っても答えは出ないと感じている。 (３) 若い人が集まらないのは、時間がないのと、楽しくないから。地域のお祭りなどには若い人がたくさん来ている。また、ボランティアセンターにも子連れで来ている。日本は女性の進出が遅れている。子連れでも良いから気軽に楽しく参加できることをしないと若い人は集まらない。楽しさや目的を求めていくことで人が集まってくるのではないかな。 (４) 昨年からお祭りの祭典委員を行っている。新しい人が入ってこない地区などは、全体的に人集めに苦労していると感じているが、今年１月に餅つき大会を行ったときはたくさん子ども達が来ていた。地区集会などセンターに来て意見を言ってもらうのではなく、地域で行われている事業などの人が集まる場に行き、意見を伺うのも良いと感じている。それぞれの集まりの中でコミュニティーもできており、どのように繋がっていくかが必要である。 (５) 子どもたちは毎年入学するので、参加する保護者の人数はいるが、青少協の活動を行うための役員が不足している。自分たちの求めているものと、保護者が求めているものが違うので、現役の保護者達の意見を聞きながら事業展開をするように努めている。 (６) 今年の夏、湘南の海を盛り上げるイベントを若い人が企画しており、期待している。ドローンを使用しての配達等、新しい発想も

	企画されているので、楽しみにしている。 (7) 自治町内会とまちづくり協議会の接点がわかりづらい。まちづくり協議会の活動をもっと自治町内会にアピールする必要がある。 (8) まちづくり協議会の委員にも自治町内会の総会にぜひ出席していただき、忌憚のない意見を発言していただき、自治町内会を活性化してほしい。 (9) 若い人は現役で仕事をしている人もいるので、まちづくり協議会の会議に引き込むのは難しい。スポーツの会でだれでも楽しむことができるニュースポーツの用具を購入したので、ぜひ活用してもらいたい。 (11) FMヨコハマのボッチャの大会に孫と参加した際、障がい者も補助器具を使い大会に参加しており、子どもから高齢者、障がい者まで、幅広くできる奥行きの深いスポーツである感じた。 (12) 防犯交通安全課からVRを活用した防犯体験ができる機材が各地区に配布されたのでぜひ体験していただきたい。 (13) VRを活用した防犯の体験ができるなど、新しい技術などを導入し、多くの若い人に関心を持ってもらうとともに、何に対して興味があるか等を知ることができればよい。
次回までの 確認事項	5月の全体会では、若い世代が参加したいと思う地域づくりをさらに掘り下げていく。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年5月26日（金）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第2回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年（令和5年）5月26日（金） 午後3時30分から午後5時10分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：16人（総数21人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、徳江委員、 甘粕（勇）委員、飯森委員、阪井委員、藤原委員、 渡辺委員、小原委員、近藤委員、山口委員、岡田委員、 福島委員、桐生委員、塚田氏（三觜副会長代理） 事務局：4人 森井主幹、関口、下間、國松、
報 告	3 報告（資料1） （1）前回全体会について 議事録の確認 （2）各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 議事録の内容は前回の全体会において報告済み。4月から新たなコーディネーターとして活動している鈴木氏、江原氏の紹介、自己紹介を行った。現在は2人のコーディネーターで活動していることを報告。 イ 郷土文化推進部会 民俗文化財継承事業の片瀬こまの大会が4月30日に開催され、70人位が参加した。8月に大会を開催する予定。また、江の島道整備事業として、旧江の島道を歩き点検を行った。修繕等必要なものはあるが、今年度は予算がないことから、対応していきたい。今年度は、公民館とのコラボ事業を検討していきたい。 ウ 青少年健全育成事業 6月8日（木）に部会を開催する予定。 エ ボランティアセンター運営委員会 4月から、「ひだまり片瀬」を月水金の午前10時から午後3時、「にこにこひろば」を木曜日の正午まで開催。詳細は、4月20日の地域回覧チラシで4月から、「ひだまり片瀬」を月水金の午前10時から午後3時、「にこにこひろば」を木曜日の正午まで開催。詳細は、4月20日の地域回覧ちらしで確認して欲しい。また、ボランティアセンター内での飲食も可能となった。

報 告	エ 広報ワーキンググループ 5月16日（火）に部会を開催し、継続して片瀬地区ポータルサイトの更新作業を行っている。長期間更新されていない情報はいったんポータルサイト上から閲覧できない状況にし、更新されている部分をもっと見やすくなるように、レイアウトを変更し、新着情報が一番上から順番に表示されるようにする。また、イベントカレンダーも、サイトの管理が明確になるまでは表示しないようにする。ホームページの更新など湘南大庭地区などの先進事例を参考にしていきたい。なお、片瀬歴史マップに掲載されている内容について、ポータルサイトでも紹介をしていきたい。 （3）各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 5月28日（日）に市主催のごみゼロクリーンキャンペーンが開催。5月25日（木）には落書き消しを行った。もし、落書きを見つけた場合は、事務局までお知らせいただきたい。 イ 片瀬一市民スポーツの会（阪井委員） 5月27日（土）ソフトボール大会を開催。自由参加となるので、ぜひ参加していただきたい。また、6月11日（日）スポーツフェスティバルを開催し、グラウンドでグラウンドゴルフ、体育館でボッチャ、ストラックアウト、ラダーゲッターを実施する。 ウ 民生委員児童委員協議会 6月に高齢者の現況調査を実施するので、協力をお願いしたい。[甘粕副会長] 防災の観点から、要支援者の支援は何かあるのか、自治町内会は特にマンション等に住んでいる方とのコンタクトがとりづらい。訪問の結果等情報共有をお願いしたい。 エ 青少年育成協力会 7月20日に小学6年生対象のデイキャンプを実施する。今年度は、体育館、特別教室を使用したお楽しみトレジャーとして開催する。 オ 江の島振興連絡協議会 江の島島内のチャドクガの駆除を行った。また、春の植栽を100人規模で開催する予定。 カ 地区社会福祉協議会 6月1日（木）午後2時から「癒しコンサート」を開催。 9月には83歳以上の方を対象に敬老会を開催する予定。民生委員の協力を得て、6月の現況調査時にチラシを配布する。
議 題	4 議題 （1）令和5年度の活動について（資料2）
	[意見] (1) 大学生の中では、まちづくりを対象とした学科もあることから

議題での検討事項・意見	大 学生の方と一緒にできればよい。また、小さなお子さんをお持ちの夫婦をターゲットにアプローチすることが必要。子どもを中心にコミュニティもある。 若い世代を一概に年代だけでくくることはできない。 (2) 片瀬地区にも若い世代が入ってきており、SNSで横のつながりもある。にこにこ広場にもよく来てくれている。そのコミュニティに地域に対して関心を持ってもらい、情報発信してもらえる仕掛けができればよい。 (3) 地域で行う事業等を企画から募集をしてみればよいのでは。また、まちづくり協議会でやることはわからないが若者は楽しいことなどに興味を持つと思う。 (4) 過疎化が進んでいる市町村では、行政が中心となり若者を集める事業等を実施している。他市町村の好事例などを分析し、若者を呼び込むのも良いのではないか。 (5) 遊びの内容が今と昔では違う。昔はゲームがコマやめんこ等しかなく、みんな外に出ていた。東り町アートフェス等、子ども達が地域に出て遊ぶことができる地域のイベント等があれば若者も集まるのではないか。
議題での検討事項・意見	(6) 昨年度末で辞任した委員が片瀬地区の住民が繋がりを持つための事業などを提案したが、まちづくり協議会として受け入れる柔軟性が足りなかったのではないかと感じている。地域活性化のためにやれることをもっと行うべきだったのではないか。 (7) 地域活性化はそう簡単にはいかない。お祭りなど、子どもの頃から地域の活動にかかわることで、地域に賑わいが生まれる。 (8) 小さい単位でコミュニティを築くことが大切である。課題があればみんなで考えることができる。 若い世代というが捉え方によって年代が様々である。特定しないほうが良い。 (9) 片瀬地区で大勢が集まる事業は、お祭り、地区レクリエーション大会、ふれあいまつりがある。大勢が集まる事業を契機にまちづくりを行うことが必要。 (10) 地区レクやふれあいまつりなどを契機に若い世代が集まるチャンスであるので、各事業を契機に地域の活動に興味を持ってもらいたい。 (11) 小学生の集団登校等も子どものコミュニティ形成にも役に立つと思う。子ども達が集まるイベントなどの事業を展開することも必要。また、大学のボランティアサークル等と協力した共同事業を行うことも良いのでは。 クリーンキャンペーンなどにも多くの若者がいる。片瀬単独ではなくもっと広い範囲で呼び込む必要がある。 (12) 今はあいさつが少ない。自宅前を通りかかった人にあいさつをした人が、何回か会ううちに、あいさつをしてくれるようになった。地域の繋がりを作るためには、基本となるあいさつをすることが大事である。小さなコミュニケーションの繋がりが必要で

	ある。 (13) 各自治町内会で開催される様々なイベントをもっと宣伝し、たくさんの人に来てもらえれば良い。コロナの影響により長期間町内会の事業ができなかったが、子ども達も楽しみにしている。昨年のふれあいまつりでは、防犯協会と交通安全対策協議会が協力してダーツゲームを行ったが、子ども達がたくさん来た。子ども達が集まると、そこに親もついてきて、一つのコミュニケーションを作ることができる。また、定期的に開催することも必要である。 (14) 市の人口は統計上では増えているが、片瀬地区は逆に減っている。片瀬地区の魅力は江の島を中心とした人を呼び込む力である。 (15) 地区集会に若い人を集めることが目標ではなく、若い人が参加したくなる地域づくりを進めることが必要であり、子育て世代に今後の地域を考えてもらいたい。街ところが好きだとかまあそんな話が聞けると何をするが見えてくるのかなとかもちよっと思ったりしています。新しく片瀬に来た方や子育て世代にいろいろ聞いてみたい。若い人が集まる場として地区レクリエーション大会やふれあいまつりであり、声が聞ける場をセッティングができればよい。 (16) 片瀬を近代的なまちにしていくのか、生活に不便はないが、レトロなまちにしていくかなどの意見を聞いてみても良い。 (17) 竜の口町内会で一番人が集まる地域のイベントは盆踊り。 (17) 江の島では、大学生から50歳台位までの人を集めたワークショップを開催する予定。 (18) 目標を小さくせず、多角的な視点からいろいろな世代を対象に、今までのいいところの継承と、今の時代の人たちの新しい考え方がセットになるようにしていく必要がある。 (19) 次回は、いつどこで何をするかを具体的に決めていきたい。
次回までの 確認事項	6月の全体会では、具体的な活動内容を決定する。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年6月15日（木）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第３回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）６月１５日（木） 午後６時３０分から午後８時３０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１７人（総数２１人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、甲斐副会長、 徳江委員、甘粕（勇）委員、飯森委員、阪井委員、 藤原委員、小原委員、吉見委員、近藤委員、山口委員 岡田委員、福島委員、桐生委員、塚田氏（三觜副会長代理） 事務局：７人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、吉岡
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会からの報告 ア ボランティアセンター運営委員会 令和４年度の収入支出決算、片瀬にここ広場などの事業報告、令和５年度の事業計画及び収支予算の承認を受けた。６月２４日のわくわく天国に合わせてボランティアセンターを開放する。カフェについては、継続予定。 イ 郷土文化推進部会 前回全体会で報告済のため、報告事項は特になし。 ウ 青少年健全育成部会 今年度第１回目の部会が開催され、今年度１１月２３日に事業実施を予定している、子どもの防災教育についての検討を行った。具体的な内容は、公民館担当とともに、詰めていく。また、各関係団体との連携を予定している。 エ 人材・情報バンクセンター運営委員会 新コーディネーターはとても活発に活動している。今までは、各イベントなどの事業にコーディネーターが手伝っていたようだが、本来の活動はお願い団体とできます団体・個人をつなげること。取材には行くが、事業の手伝いは行わない。

報 告	(3) 各地域団体からの報告 ア 片瀬地区防犯協会 安全・安心ステーションの午後の見守り活動に福島委員他 1 人が協力いただけるようになった。福島委員から、藤沢市少年補導委員連絡会の活動で、毎月 1 日と 10 日が子どもの見守りの日になっており、安全・安心ステーションで活動したほうが効果的であることから、見守りを行うこととなったことが補足された。 イ 片瀬一市民スポーツの会 5 月 27 日にソフトボール大会を開催。15 人が参加した。参加者の中には福祉施設から施設長や職員なども参加し、途中、入所者の観戦もあった。6 月 11 日開催のスポーツフェスティバルは、雨天のため、屋外のグラウンドゴルフは中止となり、屋内でストラックアウトなどの種目を実施した。 ウ 片瀬地区生活環境協議会 6 月に臨時の役員会を行い、会員の日常的な連絡方法として、LINE を活用した連絡体制をとるようにした。 エ 片瀬地区交通安全対策協議会 自身が活動している広報ワーキングの片瀬地区ポータルサイトの再起動を行うため、ポータルサイトへ 6・7 月の活動の予定を更新した。7 月 4 日に、夏の地区推進会議を片瀬市民センターで開催する予定。夏の交通事故防止運動は 7 月 11 日から 7 月 20 日まで行う。 オ 片瀬地区民生委員児童委員協議会 6 月から、75 歳以上の後期高齢者の現況調査と合わせて敬老会の案内を、83 歳以上の対象者に行っている。前月、質問があった避難行動要支援者名簿の活用について、民生委員も名簿を各自保管しており、共助の観点から、自治町内会や行政とも、どのようにするかを検討し、できる範囲で協力していきたい。 カ 片瀬地区社会福祉協議会 敬老会を 9 月 26 日から 28 日までの 3 日間、片瀬地区の 83 歳以上の方を対象に実施する予定。詳細は現在検討中。 キ 片瀬地区青少年育成協力会 7 月 20 日に開催を予定しているデーキャンプの周知を行った。また、7 月 6 日に潮の子フォーラム、7 月 22 日、8 月 5 日に夏期海岸夜間パトロールを開催する。
議 題	4 議題 (1) 令和 5 年度の活動について (資料 2)
議題での検討事項・意見	(1) 若い人が参加したくなる地域について (事務局) 前回全体会で出された意見などを基に作成した資料の説明。

議題での検討事
項・意見

役員会で検討した結果、子育て世帯を主なターゲットとする
が、全世代にスマホなどを活用したアンケートを行い、意見を聞
き地域・行政でできることについて検討していきたい。

(澁谷副会長)

最終的には一緒に地域づくりをしていただきたいと思ってい
るが、初めにまちづくり協議会の話をすると敬遠してしまうの
で、若い世代の方が、自分たちが片瀬地区についてどのように考
えているか意見を出してもらい、地域団体が協力して実現・課題
の解決を行っていきたい。

[主な意見など]

(1) 以前、現役の子育て世代を集めて「子どもをどのようにした
ら地域で見守ることができるか」をテーマに地区集会を実施し
たが、子どもを地域で見てくださいという結論になり、子どもの
居場所の確保や遊び場の整備など、ハード面の要望ばかりで、ま
ちづくり協議会の当初の狙いとは異なる方向となってしまう
た。まちづくり協議会として出た意見を解決できるレベルでは
なかった。アンケートを取るのも良いが、期待を持たせない方向
が良い。

(2) アンケートを取るのは良いが、すぐに分析してフィードバック
したほうがよい。

(3) 若い人がどのようなことを考えているかを広く知るためには
アンケートを行った方がよい。地域で解決することと行政に要望
することをきちんと仕分けることが必要である。

(4) アンケートを取るのもよいが、顔と顔を合わせて話した方が課
題などの共有ができる。

(5) 以前の地区集会で子どもをテーマとしたときにも子ども会を
通じて保護者に参加をお願いしている状況。

子どもの防災教育として、青少年健全育成部会では、両親共働
きで、子どもが家で留守番している時に災害が起きた場合などの
対応について、親子を対象に防災探検隊の事業を公民館と共同で
実施する。若い世代がどのような視点で何を望むのかを知る必要
がある。

(6) 若い世代に聞きたいことは、片瀬地区をどう思うか。ボラン
ティア活動についてどう思うか。片瀬地区に何を期待するのか。ま
たは、地域の活動などに興味を持っていない人がどのように思っ
ているか。若い人は何を考えているかを知りたい。

先日、片瀬地区社協で取ったアンケートについて、年代の偏り
は多少あるものの、意外と片瀬地区に期待している。ボランティ
アもやりたいとは思っているが、時間的な理由などによりできな
い人もいる。既存の地域団体の活動に捉われず、個人でも得意分
野を生かし、地域の中で子どもとのふれあいをしたい人がいれ
ば、その活動は尊重したい。若い人の意見を拾わないと考え方が
凝り固まってしまう。

- (7) 地区社協のアンケートは幅広い年代層に声をかけた大規模な調査で、現実を知るにはとても良い資料となっているが、20代、30代の回答者はほとんどいない状態だった。アンケートを見ると、多くの方は世間話をする程度の近所づきあいは必要だと考えており、その程度の距離感で満足している。
- (8) 今まででは地区レク等を通じて地域に戻って隣同士の付き合いなどがあったが、若者は地域に戻らず、それぞれの形で知り合いになっており、知らない人達はそこに入り込みづらい。SNS等を活用しコミュニティを形成しており、そこにどう取り込んでいくかが課題。パワーのある方に若者とのつながりのきっかけを作ってもらったり、片瀬の歴史について、子どもを連れて探検したりすることでお互いが顔見知りになり、馴染んでくれば話もしやすくなる。少しずつ動いていくことが必要。
- (9) アンケートを取る中で、具体的にやりたいことを聞いてみて実現するのはどうか。また、東京に住んでいた時には、コミュニティスクールとして、学校を開放しており、地域の方が学校を活用し各々の得意分野を生かし、囲碁や将棋等を子どもたちと一緒にやっている。本来のコミュニティスクールなのではないか。
- (10) まちづくり協議会の活動をふれあいまつりの中で展示するとともに、アンケート調査などを行ってはどうか。
- (11) 息子にも聞いたが、若い世代はとにかく時間に余裕がないとのことだった。若い方の意見を集約する手段としてはアンケートが良い。ただし、アンケートで終わらずに、結果を基に具体的なアクションを行う必要がある。7月に青少協で行う潮の子フォーラムは、生の声を聞く場として、ふれあいまつりでの展示やアンケートなどに生かしていけたらよいのでは。
- (12) 若い人は面白くないと集まらない。
- (13) 地区集会に人が集まるためには、飲食などもあり、気軽に楽しめる環境づくりが必要なのではないか。
- (14) 地区社協が行ったアンケート調査の結果を年代別に分解する等クロス集計をしたらより具体的になるのでお願いしたい。
- (15) 若い人は時間的に拘束される地域団体の活動には興味がないが、クリーンキャンペーンなどの単発の事業にたくさんの人が集まっていることから、ボランティア活動自体には興味がある。地域団体に属さず、J J B Cに登録する人がもっと増えれば、結果として地域活動も活発になる。まちづくり協議会の活動をPRする場として、ふれあいまつりの模擬店が地域団体で早期に終了する場合もあるので、空いたテントを有効活用し、活動をPRできる場を設けても良いのでは。
- (16) 地域の愛着を育てるのがまちづくり協議会の役割だと思っている。アンケートを取ることも有効だが、直接顔を合わせて話をしたほうが、後々まとまりもよくなる。
- (17) 高齢者にもアンケートを取るのであれば、若い頃、感じていたことなどを聞いてみることも良い。

	(18) アンケートを取るのであれば、片瀬こまや片瀬餅つき唄のことなども聞いてみてはどうか。 以 上
次回までの 確認事項	7月の全体会では、アンケート等具体的に決定する。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年7月21日（金）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第４回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年７月２１日（金） 午後３時３０分から午後５時４０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１５人（総数２１人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、甲斐副会長、 徳江委員、甘粕（勇）委員、飯森委員、阪井委員、 藤原委員、小原委員、近藤委員、山口委員、岡田委員、 福島委員、桐生委員 事務局：６ 人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松
都市マスタープランの改定に伴う意見交換 （計画建築部都市計画課）	（１）藤沢市都市マスタープランについて 都市マスタープランについて事前配布資料を基に概要を説明。令和７年度の改定に向け、２ヵ年に渡り検討を行っていききたい。 〔委員〕資料に記載の少子高齢化社会への突入は、片瀬地区のことなのか市全体のことなのか。 〔都市計画課〕片瀬地区は、元々高齢化が高い地区となっており、年齢別の人口の比率からすると少子化の傾向がある。 〔委員〕高齢化率は以前から高いことは知っているが、青少年関係の役員をしている中で、子どもが少ないというイメージがなかった。 〔都市計画課〕令和２年の市全体の６５歳以上の人口割合は、２４．９％、片瀬地区は２８．７％。１４歳以下の人口割合は、市全体で１３．３％、片瀬地区は１１．２％。２０年後の令和２２年の１４歳以下の人口割合は８．４％程度になる想定。 〔委員〕都市マスタープランについての意見交換は今後継続してまちづくり協議会の全体会で行っていくのか。また、意見交換は他の地域団体等とは行わないのか。 〔都市計画課〕これから令和７年度の改定まで年間３回から４回程度の意見交換を行い、プランを作り上げていきたい。まず、現況の課題などの確認を行い、最終的には方針や地区の将来像について検討していきたいと考えている。 また、意見交換については、まちづくり協議会の全体会で行い、改定案が出来上がった段階でパブリックコメントや片瀬地区内で説明会を開催していきたい。 〔委員〕すばな通りでは、電柱地中化の要望を数年前から市に出し、

都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (計画建築部都市計画課)	市としても実施に向けて検討していただいていると思うが、毎年4月になると担当職員が変わり、毎回同じ説明を受ける。事業の進捗状況はどのようになっているのか。市全体で取り組んでいただきたい。 〔都市計画課〕進捗状況は把握していない。 〔委員〕理念が書かれているが、具体的なことは書かれていないので分かりづらいという印象だった。災害発生時における観光客の避難対策などが示されていない。また、片瀬山市民の家の再整備にあたり、検討会議を行っているが、当初、災害時の防災機能を有した複合施設としての整備を市に申し入れたが、単独の市民の家になりつつあることを危惧している。 〔都市計画課〕都市マスタープランは理念を記載したものとなる。前回の改定からこれまでの間に発生した課題などを今後盛り込んでいきたい。 (2) 藤沢市交通マスタープランについて 市や片瀬地区の状況等、アンケート結果などをまとめた内容について説明を行い、意見交換を行った。 〔委員〕小田急藤沢駅の再整備が始まっていることから駐輪場が不足している。駅前での用事を済ますのに少しでも駐輪できれば便利だが、注意を受ける。有料駐輪場は常に満車で駐輪できない。また、藤沢駅に行く途中の自転車が通行するスペースが狭く、道路と歩道の間の路肩を走ろうとすると舗装が荒れており、走りづらい。 自転車通行帯にトラックが駐車しており、通行に支障が生じている。 〔都市計画課〕自転車通行帯について、通行帯に車両が駐車しておりマナーが守られてない場面を見たことがある。 〔委員〕スバナ会館裏の駐輪場は有料化になる前はたくさん駐輪していたが、有料化後はほとんどいなくなってしまった。 〔委員〕以前、モノレール駅裏に無料の駐輪場があったが、みんな自転車を置いて行ってしまう。今の自転車は安価で販売しているものもあり、使い捨てのようになっている。そのような状態がなくなっただけだと感じている。 〔委員〕スライド5番目の交通量の減少について、片瀬地区は観光客の移動もあり、減っている様に感じていないがどのように捉えているのか。 〔都市計画課〕観光客の移動に関する調査も含まれており、片瀬地区は、他の地区と比較して移動の減少は少ない傾向にあるが、在宅勤務やネットショッピングの発達等により減少している。 〔委員〕モノレールに自転車に來ている人はどこに駐輪しているのか。 〔委員〕放置自転車禁止区域内に駐輪しているとすぐに回収されている。 〔委員〕自転車通行帯等は、学校や子どもの多い場所などを中心に、
---	--

	安全確保を目的に設置できるよう考えてほしい。 〔都市計画課〕自転車走行空間の整備については、今回の交通マスタープラン改正に合わせサイクルプランの改訂作業も同時に検討を進めている。 〔委員〕片瀬山地区は高齢化が進み、買い物がとても大変である。 〔委員〕自転車は基本的には歩道は通っていけない。老人や子どもが通行する場合は押して歩くのが基本。しかし、車道を走るにしても今の状態では走りづらいため、自転車が走りやすくなるような計画としてほしい。
報 告	3 報告（資料1） （1）前回全体会について 議事録の確認 （2）各部会等からの報告 時間の都合上、広報ワーキンググループ以外の活動は、当日配布資料での確認を依頼。質疑等は後日、事務局まで。 ア 広報ワーキンググループ 片瀬地区ポータルサイトの見直し状況について説明。これまでは、最新情報が団体ごとに表示されていたが、下部にある団体の新着情報が見てもらえない可能性が高いため、投稿した順番に新着状況が表示されるようにしたい。 地域回覧の内容について、藤沢市のホームページにアップロードされているので、リンクを設定した。また、ゴミ収集日程カレンダーを載せ、暮らしの便利情報をプラスしている。 今後の更新について、事務局、地域団体の方などで運営ができるように呼びかけを行っていききたい。 （3）地域団体からの報告 自主防災協議会から片瀬地区総合防災訓練への参加について、呼びかけを行った。 それ以外の報告については、時間の都合上、資料参照。
議 題	4 議題 （1）令和5年度の活動について 資料2 “若い人が参加したくなる地域づくり” アンケート
議題での検討事項・意見	（1）アンケートについて 〔事務局〕スライド資料に基づき、アンケートを依頼する内容の概要について説明。地区レクリエーション大会やふれあいまつりでの配布を検討。また、アンケートの集計結果を分析し、地域回覧や地区集会での意見交換等を行う中で地域団体の活動に反映させていきたい。

議題での検討事
項・意見

主な意見

- [1] 内容が漠然としている。若い人が参加してもらいたいようにもっと具体的な内容を聞いた方が良い。
- [2] 地域団体の認知度について、青少年支援フォーラム、江の島振興連絡協議会、片瀬地区商店会なども含まれているが、これらの団体に対して住民が何か関心を持ち繋がることができるなら良い。
- [3] 地域活動の一番基本的な接点は自治町内会活動である。
- [4] 団体名の認知度を聞くのではなく、地域団体が行っている各種事業などの活動を併記すればわかりやすくなるのでは。
- [4] 若い世代に質問するのであれば、普段はどこで遊んでいるのか。片瀬のどこが好きなのか。地域の情報は何かから得ているのか。などを聞いたほうが良い。
- [5] 地区レクリエーション大会は全年齢が参加でき、過去も参加したことがある事業で認識されていると思うが、敬老会は83歳以上にならないと参加できない事業となるので、アンケートに記載するのはどうか。
- [5] 若い世代の定義は結果としてどのようなになったのか。参加してみたいイベントなどを聞いてみるのも良いのではないか。
- [6] 地域団体の認知度はアンケートをもって知ってもらうという意味でもとっても良いのでは。まちづくり通信は、地域活動に参加したことのある人は読んでいるが、それ以外の人は見ていないと思う。
- [7] アンケートで聞きたい事を詰め込みすぎているのかもしれない。
- [8] しつこくなってしまうが、団体名など繰り返し記載することで地域団体の名前を知ってもらうことも必要なのでは。
- [9] QRコードを活用してのアンケートを基本として、周知のチラシを全戸配布し、地区レクリエーション大会やふれあいまつりの際にも補完する観点で配布していきたい。
- [10] アンケート結果を、手が欲しい地域団体に結び付けられればよりより良いアンケートとなると思う。
- [11] 地域団体には所属していないが、子どものいる若い世代で活動しているグループもある。今回のアンケートでどのような活動をしているか聞き取りをすることで、将来のまちづくりに結びつけば良いのではないか。
- [12] 若い人に質問するのではれば10年後ではなく、今のことを聞いても良いのでは。また、片瀬地区に限らず市全体の広い視点を取り入れても良いのではないか。
- [13] 地域活動も無償ではなく、有償のボランティア活動になれば若い人も集まるのではないか。

議題での検討事項・意見	(2) ふれあいまつりについて [事務局]ふれあいまつりの準備の進捗状況について説明。コロナ前と比較し、模擬店の出店が少ない状況となっているため、まちづくり協議会として、活動のPRも兼ねて模擬店の出店について提案。出店にあたっては、公募委員を中心に協力を依頼。今年度は、試験的に行っていききたい。 [委員] 模擬店のテント立ては、スポーツの会の役員が中心となっているが、負担が大きい。 [事務局] テント立てについては、ボランティアを募るなどし、負担軽減を図っていききたい。 [委員] 模擬店の出店内容は、各地域団体の出店状況を考慮し、重複しないよう配慮していききたい。
6 その他	6 その他 (1) 藤沢市防災アプリ「ハザードン」の周知 [事務局]市防災政策課でアプリを配信したことを報告。 主な機能は、災害に関する情報のほか、見守りの機能があり、最大5件場所が登録でき、遠方の家族が住んでいる地域の情報等を得ることができる。
次回までの確認事項	8月の全体会では、アンケート、ちらしを確定する。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年8月24日(木) 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第５回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年８月２４日（木） 午後３時３０分から午後５時２０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１６人（総数２１人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 甲斐副会長、徳江委員、吉見委員、藤原委員、小原委員、 甘粕（勇）委員、阪井委員、岩田委員、岡田委員、桐生委員、 福島委員、近藤委員 事務局：７人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、吉岡
報 告	３ 報告（資料１） （１）前回全体会の報告 議事録の確認 （２）各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 配布資料のとおり。 イ ボランティアセンター運営委員会 ９月に開催されるミニ講座の周知。 ウ 郷土文化推進部会 境川の橋巡りを郷土文化推進部会と公民館の共催事業として１１月に実施する予定。 片瀬こま大会が８月１９日に片瀬しおさいセンターで開催された。 エ 青少年健全育成部会 １１月２３日に公民館と共催し防災教室を行う。 オ 広報活動ワーキンググループ 片瀬地区ポータルサイトの整理は終了した。今後は、ＳＮＳを活用しての情報発信について検討していく。 （３）各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 ８月７日、１４日、２１日の３回、片瀬海岸付近の清掃活動を行い、環境部長を中心に３日間延べ人数５２人が参加した。特定の自治町内会が生環境の活動に参加しない状況。 片瀬山環境委員会の環境活動についてのプロジェクトに参加した。９月にリサイクルプラザを見学する予定。

	イ 片瀬一市民スポーツの会 片瀬小学校で実施されたプール開放及びカップ祭りを実施し、子ども62人、大人28人の合計90人が参加した。次年度以降は、プールの授業が民間委託になる可能性があるため、今年度で最後となる可能性がある。 9月24日にターゲットバードゴルフの事業を初開催予定。 地区レクリエーション大会を10月15日に片瀬小学校で開催。今年度は、午前中のみ。会場が狭いため地区対抗形式ではなく、自由参加とする。なお、地区レクの運営にあたり、各自治町内会の体育部長にお手伝いをお願いしているが、各自治町内会で適任者を体育部長として選出をしてもらうようお願いしたい。 ウ 青少年育成協力会 7月20日にデーキャンプを実施。青少協や地域団体から50人以上の大人の協力に加え、片瀬小学校6年生の先生にもご協力いただいた。
議 題	4 議題 (1) 令和5年度の活動について 資料2 “若い人が参加したくなる地域づくり” アンケート
議題での検討事項・意見	(1) アンケートについて[事務局] アンケートを依頼する内容の概要について説明。 ・地区レクリエーション大会やふれあいまつりでの配布を検討。 ・アンケートの集計結果を分析し、地域回覧や地区集会での意見交換等を行う中で地域団体の活動に反映させていく。 主な意見 [1] アンケートに協力していただいた参加記念品はないのか [事務局] インターネットでの実施や無記名形式となることから、参加記念品は用意しない。 [2] 質問6番について、「ある」を選択した方が質問8番に行くのか質問9番に行くのかがわかりづらい。また、質問12も同様に質問14に行くのか、質問15に行くのかがわかりづらい。 [3] 現在の記載だとわかりづらいので段落を変えたり、(1)(2)等を加える等対応したい。 [4] 町内会役員の決め方等もあったほうが良いのでは。団地に住んでいた時に、輪番で当番になった年は一生懸命行いうが、それ以外の時はやらない。 [5] 町内会長含めた役員決定のプロセスは興味深いが、一般の人はプロセスを知らない。今回のアンケートは自治町内会を対象に出すものではないので、アンケートに入れることは考えていない。 [6] 質問4番で、回答の内容が対比隣同士で対比しているところとしていないところがある。同じジャンルごとに並べることで分かり

議題での検討事項・意見	やすくなるのではないかな。 〔7〕質問8の下の囲み部分は、今回のアンケートが地域団体の担い手を探すものと感じてしまう可能性があるので、「地域のイベントは地域団体の協力で行われています。皆様が生活していく中で地域との関わりについてお聞きします。」という、マイナスイメージにならないようにしたほうが良い。また、質問15は、片瀬に限らず全般的に暮らしやすいまちについて記載してもらった方が良い。 〔8〕いろいろな団体があり、地域活動を行っていることは知っているが、参加のきっかけがないのではないかな。 〔9〕年代に90歳以上まで記載しているのであれば、10歳未満も加えたほうが良いのではないかな。また、質問2の居住地で市外を選択してしまった場合、以降の質問の回答内容から外れてしまうのではないかな。どの範囲で配布するかなど、整合性をとったほうが良いのではないかな。 質問11の②にある「やり方」の表現は、「きっかけ」などにしたほうが良い。また、質問12の町内会について、「役員から町内会加入に誘われなかった」を入れたほうが良い。 〔事務局〕市外在住の解答については、ふれあいまつりなどで市外に住んでいる人が来る可能性もあるので質問に入れている。 〔10〕住んでいる人以外も、片瀬地区で働いている人も質問に回答する 〔11〕質問14について、いきなり有償という表現でなく、「どのような場合なら地域活動をやりたいですか」。という質問にし、選択肢の一つとしても良いのではないかな。 〔12〕単刀直入に有償ボランティアについて回答する人が意識しているかを確認できるのでそのままで良いのでは。 〔13〕片瀬地区に住んでいる方を対象しているのであれば、片瀬地区に住んでいるかどうかを聞く質問の文言がちょっと違ってくるのではないかな。まちづくり通信と今回のアンケート用紙に記載する目的の表現が統一されていない。 回答する人にとって、片瀬・江の島まちづくり協議会についての説明をアンケートの最初に記載したほうが回答しやすいのでは。 〔14〕9月2日に市で地域活動見本市という事業が開催されるが、各団体、担い手の不足が課題となっている。今回のアンケートの結果を楽しみにしている。 〔15〕質問14について、有償という単語を先頭ではなく、「地域活動や町内会活動の担い手として有償なら参加したいですか」。という表現にしたほうが良い。 〔事務局〕アンケートについては、今回意見をいただいた内容で、役員会で検討した結果を、9月の全体会で確認していただき、10月5日に全戸配布する。まちづくり通信での協力依頼とともに、インターネットでの回答が難しい方には窓口での配布をしていきたい。
--------------------	--

議題での検討事項・意見	(2) ふれあいまつりについて まちづくり協議会としての模擬店出店について説明。 今回の模擬店出店に至るまでの経過は、単に模擬店を出すことが目的ではなく、片瀬地区内の若い人の地域参画のきっかけづくりとして、協議会委員や、模擬店会場内の地域団体の方たちとの交流促進や地域活動に興味のある方の発掘などを期待して実施するものであることを先月の全体会に続き再度説明した。 具体的な内容は、鵜生園と民児協と連携し、他の模擬店と出品内容が重複しないよう、おでんやぜんざいの販売を行っていききたい。おでんは鵜生園から450食分提供いただく予定で、ぜんざいは150食分を予定しており、協議会として公募委員の山口委員、岡田委員、福島委員の協力をいただく予定。また、その他、JJBCなどを通じて運営ボランティアの募集を行っていききたい。 なお、値段設定など詳細は今後検討していききたい。 [1] コロナ前は民児協でおでんと焼き鳥の販売を行っていたが、コロナや民生委員の改選などにより、連携ができないことや、2日間の従事となると協力いただける方が少ないため、おでんの機材の提供を行っていくこととなった。 [2] 模擬店を運営する人数について、チームFUJISAWA2020やJJBCで募集をしても人数が不足する場合についても事前に検討したほうが良い。 [3] 模擬店を出店するのは良いが、まちづくり協議会の活動PRもきちんとしたほうが良い。また、雨天により規模縮小となった場合のリスクも事前に検討したほうが良い。 [事務局] まちづくり協議会としての模擬店出店は初めての取組みになるので、できる方向で本番に向けてやっていききたい。 [4] ふれあいまつり盛り上げるためにお昼にも太鼓をたたくなどしても良いのでは。 [事務局] お昼の時間帯については改めて祭典委員会などに聞いてみたい。 [5] これまでのふれあいまつりは、地域団体と公民館サークルのみの参加であった。今回は、それ以外の地域で活動している方も参加するのでより良いものになればよい。
6 その他	6 その他 日程の確認 全体会を金曜日に訂正
次回までの確認事項	9月の全体会では、アンケート、ちらしを確定する。

次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年9月22日（金）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール
-------------------------	--

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第６回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年９月２２日（金） 午後６時３０分から午後８時まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１６人（総数２１人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、三觜副会長、甘粕副会長、 甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、 小原委員、甘粕委員、阪井委員、渡辺委員、岡田委員、 福島委員、保川委員 市都市計画課：４人 堀田、柏木、與安、赤坂 事務局：４人 幸田センター長、笠原、関口、下間、吉岡
都市マスタープランの改定に伴う意見交換（別紙資料）	市都市計画課から、片瀬地区の地区別構想の現況と課題について、事前配布資料を基に説明。前回の全体会で出された意見などを追加・修正している。 〔Ｑ１〕人口の増減は自然減だけか。市全体としてはどうか。 〔Ａ１〕主たる原因は、自然減の方が多い。人口の推移は市全体でも作っているが、地区別の構想について意見交換したい。市としては、令和１７年頃まで増加傾向となるが、以後減となる推計。 〔Ｑ２〕片瀬地区で育った子どもが、定年後に戻ってくる人数などの計算はできるのか。 〔Ａ２〕個別に数値化するのは難しい。 〔意見１〕江の島の住民は戻りにくい現状がある。結婚して江の島内に自宅や共同住宅が簡単に建築できない。 〔Ｑ３〕片瀬地区は、都市計画が遅れ住みにくいのではないか。 〔Ａ３〕都市施設は整備されている部分もあるが、道路が狭かったりするところもある。 〔Ｑ４〕片瀬地区内のバス路線減ってきている。今後、コミュニティーバスを地区内に走らせることはできないのか。タクシー会社やバス会社などとの協力はできないのか。また、道路の渋滞が激しい。横浜藤沢線が川名まで来ているので、国道１３４号線に繋げるまでは難しくても、国道４６７号線までは繋がればある程度の渋滞緩和が図れると考えている。 〔Ａ４〕バスの運転手や利用客共に減っており、結果として、バスも減便や路線の廃止などが起きてしまう。コミュニティーバスも路線バスと同じ扱いのため採用は難しいかもしれない

都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (別紙資料)	が、他地区ワゴン車クラスを活用した乗合タクシーは、地域の皆さんの一定の負担をいただく必要が生じてしまう。 また、横浜藤沢線は、県に確認したが、平成26年位以降、地元説明等を行われていない状況。 [Q5] 地区内の人口増になっている区域の主な理由は。 [A5] 具体的な理由は不明。 [意見2] 子育てしやすい環境を片瀬地区の中に整備することが人口増につながるのではないかな。 [Q6] 高齢化が進み空き家が増え、空き巣などの犯罪が増えると感じているが、どのように考えているのか。 [A6] 市の対策として、5年ほど前に職員が現地調査を行い、空き家の所有者等も含め把握を行った。空き家を未然に防ぐため、土地建物を土地売買や賃貸等で市場に流通させることも空き家対策として有効と考えており、関係団体と協力し啓発している。空き家を見つけた場合は、住宅政策課への連絡をお願いしたい。 次に、防犯については、警察等と連携する中で啓発するなど、防犯意識の向上が図れると考えている。 [意見3] 空き家を解体して更地にすると、固定資産税が高くなってしまうので解体しない結果、空き家が増えてしまう。
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会の報告 議事録の確認 (2) 各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 配布資料のとおり。 (3) 各地域団体からの報告 ア 片瀬地区社会福祉協議会 敬老会の開催について周知。 9月26日から28日の3日間、敬老会を開催。その際、交通安全対策協議会に協力を依頼。 イ 片瀬地区自主防災協議会 9月9日に開催した片瀬地区総合防災訓練の結果報告。
議 題	4 議題(資料2) (1) “みんなが参加したくなるまちづくり” アンケート
議題での検討事項・意見	前回、全体回以降の修正点の説明。 ・事務局の集計作業の都合上、アンケートの締切日を11月10日に変更。 ・アンケートの配布方法「地区レクリエーション大会」、「片瀬地区ふれあいまつり」での配布。当日協力できる委員の確認。 ・10月5日地域回覧のため、アンケート内容の最終確認。 主な意見 [1] 地区レクリエーション大会の受付時に必ず抽選券を入れるの

議題での検討事項・意見	で、その時に一緒に配布したほうが効率が良い。 〔2〕 ふれあいまつりの各模擬店で配布すれば効率が良い → 〔1〕〔2〕の意見があり、地区レクリエーション大会受付時、ふれあいまつりの模擬店でアンケートの依頼を配布。また、紙で回答できるように準備する。 〔3〕 紙の用紙について、回答によって次の質問が枝分かれする場合、次の質問を明示したほうが良い。 〔4〕 有償ボランティアの具体例が記載されているが、誤解を招く恐れがある。 → 〔3〕〔4〕紙の回答用紙に次の質問がどこなのかをわかりやすく記載する。また、有償ボランティアの具体例は削除する。 なお、チラシは、印刷の際、見やすくなるよう色を濃くするなど、微調整を行い、予定どおり10月5日の地域回覧便で周知を行う。
6 その他	6 その他 （1） ふれあいまつりの模擬店参加についての進捗状況 他の公募委員も興味があればぜひ参加してもらいたい。 （2） 人材・情報バンクセンター協力員の辞任について （3） 今後の日程について 部会の日程を確認。
次回までの確認事項	アンケートの回答状況等の時点報告など
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年10月19日（木）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第７回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）１０月１９日（木） 午後３時３０分から午後５時１５分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	出席者 ２６人（委員１９人、事務局７人） 委員 畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、 小原委員、甘粕（勇）委員、阪井委員、渡辺委員、岡田委員 山口委員、桐生委員、福島委員、近藤委員、保川委員 事務局 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、 吉岡
報 告	２ 報告 （１）前回全体会の報告 議事録により前回全体会の概要について報告。 （２）各部会の報告 ア 郷土文化推進部会 片瀬こまの事業が各地で開催されている。公民館との共催事業について検討を進めており、地域回覧で参加募集を行った。 イ 人材・情報バンクセンター 引き続き登録情報の精査をコーディネーターが行っている。コーディネーターの１人が、体調不良のため９月末で退任し、現在１人で活動しており、ふれあいまつりの準備等を含め、最小限の活動となっている。 ウ ボランティアセンター運営委員会 ボランティアセンターの活動として、防災食についての講座を実施した。地区社協に加わった福祉ボランティアしおさいについて、事務所をボランティアセンターに移転するための検討を行っている。また、鵠生園主催の介護者講座が開催されるので、ぜひ参加をお願いしたい。 エ 青少年健全育成部会 １１月２３日に実施する子どもの防災事業実施に向けて準備を進めている。当日の運営協力について、青少年関係団体への依頼を行っている。 地域回覧や小学校での周知を行った。 オ 広報ワーキンググループ 片瀬地区ポータルサイトの整理を行い、新着情報をトップにす

	るなどの変更を行った。情報発信の間口を広げるため、市民センター窓口付近にQRコードの掲示について検討を行っている。また、地域団体の活動等も紹介できればと考えているが、広報ワーキングのメンバーだけでは対応が困難である。 ワーキングの立ち上げから年度末で2年となることから、2年間の活動報告に向けて、今後検討を行う。なお、地域団体の方でポータルサイトの操作方法を学びたいのであれば個別に相談をお願いしたい。 (3) 各地域団体からの報告 ア 片瀬地区生活環境協議会 令和5年度藤沢市生活環境連絡協議会の市民大会についての周知。市民大会では、表彰、活動事例発表、基調講演等が行われるので、ぜひ参加をお願いしたい。 イ 片瀬市民スポーツの会 地区レクリエーション大会が雨天中止となった。当日配布を予定していた景品などは、他の事業での参加記念品として配布、ふれあいまつりでの販売やスポーツの会の中での買取を行っていく予定。 ウ 片瀬地区自主防災協議会 11月5日に実施される津波避難訓練の周知。 エ 民生委員児童委員協議会 敬老会は無事終了した。10月4日に交換民協を善行地区と実施し、災害対策について意見交換を行った。 オ 片瀬地区社会福祉協議会 9月26日～28日に実施された敬老会について、事故等なく無事に終了した。直接の原因となったかは不明だが、敬老会終了後にコロナに感染した方が報告された。次年度以降実施に向けての検討課題としていく。 カ 片瀬地区交通安全対策協議会 交通街頭指導が10月、11月それぞれ2回ずつ実施される。また、ふれあいまつりでは、片瀬地区防犯協会と一緒に、ダーツゲームを行う予定であり、後日、詳細を調整する。また、11月28日に地区推進会議を実施する。
議 題	4 議題 (1) 地区集会の開催について 資料 2 日程等スケジュール及び内容確認 (2) アンケートについて 中間報告
議題での検討事項・意見	(1) 地区集会について[事務局] 企画(案)について説明。日程は、2月18日が藤沢市長選となることを考慮し、3月2日(土)の開催について提案。日時については、若い世代の方に来てもらうためには土日の開催。

議題での検討事項・意見	時間は、午後からの開催だと、参加者が外出しづらくなってしまいうため、午前中の開催としたい。 内容については、第１部は２年間の活動報告を行い、第２部の内容について、一例として掲載しているが、委員の皆さんに何をするか検討いただき、１１月の全体会までには確定したい。 アンケートの結果集計から地区集会に向けての準備など、全体スケジュールを確認した。 ア 日時について 地区集会開催日は、委員からの異議はなかったため、３月２日（火）午前とする。 イ 内容について [1] 第１部の活動報告は短めにし、質疑応答の時間をとってほしい。もし、質問がなければ誰かに依頼し、外から見た協議会について質問してもらいたい。 [2] アンケートの結果を基に、若い方が地域活動に自然に参加し、高齢の方と一緒に活動するための活動事例などを発表できる方に来ていただき、参加者へ情報提供や呼びかけができれば良いのではないかな。 [3] 自分たちではアンケートの結果の分析ができないので、分析できる方に依頼したほうが良い。 [4] 各自治町内会の中には若い世代の役員もいることから、自治町内会の中で対応できる人材の出席をお願いしたほうが良い。 [5] 町内会から若い人が地区集会の場に出てこない状況である。 [6] 若い世代として、サーフィンをしているグループや海水浴場のグループなどを個別に呼ぶことは可能である。 [7] 学校の保護者、まつりの祭典委員会などは若い世代がいるので声をかけても良いのではないかな。 [8] スポーツの会も中心は５０代となっている。 [9] 地域団体の関係者ではなく、一般の方に来てもらわないと意味がなくなってしまう。 [10] ＰＴＡなどに声をかけたほうが良いのではないかな。また、アンケートの分析を先に行った上で、テーマを決めたほうが良いのではないかな。 [11] アンケートのテーマと地区集会のテーマは同じにしたほうが良い。また、サブテーマを設け、内容が具体的に伝わるものとしたほうが良い。 [12] 地区集会に参加した人が、なんとなく参加するのではなく、参加した結果、何か地域活動への参加のきっかけとなるようにしたほうが良い。 [13] アンケートでは詳細は聞けないが、子育て世代、高齢者などそれぞれの世代がそれぞれ思うまちづくりでよいと思う。 [14] 家庭内では夫婦ともそれぞれの役割を果たしている。しかし、町内会活動等は、理解しているが、地域を良くしようとするた
--------------------	---

議題での検討事項・意見	めの行動に移らない。このことが自治町内会の担い手不足に繋がっている。 [15] まちづくり協議会は、片瀬のまちづくりに必要な会議だと思うが、時代も日々変わっており、将来的にどのようなかわからないが、小さい助け合いを近所でしていくことが基本であり、私たちができる範囲の中で、継続していくほうが良い。回数や結果を求めず試行錯誤し、毎年アップデートさせる方が良いのでは。 [16] 名前は変わるかもしれないが、地域の活動自体は継続されていく。テーマを決めるのではなく、その場で集まってもらい、テーマをその中で決めたほうが良い。 [17] 若い世代の人も、地域に興味関心を全く持っていないのではなく、自分たちの中でコミュニティを持っている。地区集会の場に集まって意見交換するのではなく、顔を合わせて付き合うことで、顔見知りになってから情報交換し、関係を築くことが大切だと思う。まちづくり協議会が主体になるのではなく、みんなで気楽に集まって話をする場があったほうが良い。 [18] 地区レクリエーション大会には600人以上の参加者がおり、ほとんどが若い世代の方である。スポーツの会主催事業でニュースポーツを行っているが、最近、若い人が参加してくれている。地区集会という堅苦しいものではなく、誰でも気軽に参加できるようなイベントを行い、意見交換をしたほうが良いと感じる。 [19] 若い世代を対象とした公民館事業や地域の事業などでアンケート協力をいただき、不満に感じていることや希望していること、未来の子どもたちにできることなどを聞いても良いのではないか。 [20] アンケートの結果を分析し、地区集会に若い方が多く集まってくれるように考えていきたい。また、アンケートの結果にこだわらず、若い人考えなどお話を伺う場となるようにアプローチできればと考えている。 [21] 第2部では、こちらからテーマを決めるのではなく、良いことも悪いこと、改善点や困っていることなどを聞くだけの地区集会としても良いのではないか。
	(2) アンケートについて 10月15日の地区レクが中止となったため、ふれあいまつりでたくさんの回答をもらいたい。現在、48人の回答。うち20代～50代で約半数。
4 その他	4 その他 (1) ふれあいまつりについて[事務局] 模擬店の運営について、民生委員5人、人材・情報バンクセ

	ンターを経由して申込のあった方が3人、ロコミ等で7人の合計15人が模擬店の運営に協力してくれることとなった。まちづくり協議会の委員もぜひ第2駐車場に顔を出して頂ければ、今後の地域活動への参加のきっかけにもなる。 (2) 日程の確認
次回までの 確認事項	若い人に来てもらい、意見を聞けるような地区集会とするため、詳細を決定していく。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年11月16日(木) 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第８回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）１１月１６日（木） 午後３時から午後５時３５分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１２人（総数２１人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、小原委員、岩田委員、山口委員、近藤委員、保川委員 欠席者：三觜副会長、甘粕副会長、甘粕委員、阪井委員、渡辺委員、依藤委員、岡田委員、福島委員、桐生委員 市都市計画課：堀田、柏木、與安、赤坂 事務局：幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、吉岡
都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (別紙資料)	〔都市計画課〕 片瀬地区の土地利用構成割合の推移、道路の状況、公園・緑の状況について説明を行い、意見交換を実施。 〔１〕片瀬山地区内は大規模開発により道路幅も確保されているが、路線バス以外の大型車が通行できないのはなぜか。 〔都市計画課〕交通規制は神奈川県警察で行っているので詳細は不明。ご意見については、警察にも確認してみる。 〔２〕過去に子どもが片瀬中学校に通っていた時に片瀬中学校までバスが来ていた記憶がある。 〔３〕片瀬地区は人口減少とのことだが、新築の住宅が建築されたり、集合住宅が増えている印象を持っている。また、江ノ電江ノ島駅の目の前に１４階建てのマンションが建つ予定である。片瀬のイメージは緑が多く空が広いイメージであるが、街全体としての景観保全などの考えがあれば伺いたい。 〔都市計画課〕子育て世帯の人口は増えているが、高齢者などの自然減も多い状況。また、緑に関しては、風致地区などの指定を行い、樹木の伐採の制限等、緑の保全を行っている。緑の保全などについて、皆様からのご意見を伺いながら緑や景観の保全を図っていくことが必要であると考えている。 〔都市計画課〕すばな通りは商業地域となっており、風致地区などの制限がなく、また、建物についても高層の建物の建築が可能となっている。 〔４〕片瀬山公園について、災害時の広域避難場所となっている

都市マスタープランの改定に伴う意見交換 (別紙資料)	が、ベンチの数が少ないので、もっと増やした方が良い。また、高低差があることから4フロアに分かれているため、来る人が分かりづらい。電灯などに番号などを付番し、初めて来た人でもわかりやすくしたほうが良い。 [都市計画課] 片瀬山公園のベンチは少ないと認識している。現在供用されている範囲は借地も含まれているため、暫定な供用となっている。災害発生時の広域避難場所になっているので、かまどベンチ等の設置等についてもご意見として受け、将来的に整備する際に担当課と共有したい。 [5] 公園設置の基準について、すばな通り町内会の中で3つ公園があるが、いずれも狭かったり、斜面地のため、数だけでなく、人口の比率でみてほしい。また、すばなポンプ場のスペースの有効利用について伺いたい。 [都市計画課] 公園は、市の計画に基づき整備されている公園の他に、マンション建設に合わせて整備され、管理を市に移管している公園がある。この場合は、マンションの開発面積に応じて面積を設定しているので、小さな公園もある。市の計画に基づく公園整備の基準は、緑の基本計画に基づき、1人当たり11㎡の公園を整備するという目標があり、少しずつだが整備している状況。また、ポンプ場の土地の有効活用については、担当課に確認していきたい。 [6] 片瀬山は同じタイミングで開発されており、道路が整備されているが、片瀬山2丁目の道路密度が高い理由は何か。 [都市計画課] 片瀬山の住宅地自体は整備済みとなっているが、街区自体が道路で確定されており、新たな道路ができるとは考えづらいため、確認したい。 [7] 未整備となっている横浜藤沢線の進捗状況はどのようになっているのか。また、公園内にトイレを設置する基準を聞きたい。 [都市計画課] 川名側の設計を進めているということは神奈川県から伺っている。市の担当課を経由して道路整備状況を確認したい。また、公園内にトイレを設置する基準は、市の基準で500mおきに整備を行う計画となっている近隣公園に位置づけている公園に設置していく。
報 告	3 報告(資料1) (1) 前回全体会の報告 議事録の確認 (2) 各部会からの報告 配布資料のとおり。 (3) 各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 ふれあいまつりで出品した花、バケツについてはいずれも完売した。また、11月19日に実施される一日清掃デーの周知。

	(4) 郷土づくり推進会議地区交流会について 11月10日に開催された地区交流会について報告。 今回は「地域活性化に向けた新たな取り組みについて（若者が積極的に参加できる仕組みづくり）」について、同じグループの六会、明治、善行と意見交換を行った。子育て世代、親子連れ、大学との協働など各地区の特性を生かした事業が展開されているが、片瀬地区と同様にお祭りなどの地域イベントを契機に、若い人たちが地域活動に参加してもらえるよう取組んでいる。 先日実施したアンケート結果を抽出して報告。六会地区では、「坂のまち」をPRするため、缶バッジを作成し配布するなど地域の魅力を広める活動を行っている。他の地区では、まちづくり協議会の運営を行う人材は不足していない。御所見地区では、地域と中学生が連携し、中学生が中心となりイベントの運営を行うなど、若い人を取り込んでいる事例もあったとのこと。
議 題	4 議題（資料2） (1) アンケートについて (2) 地区集会の方向性について
議題での検討事項・意見	(1) アンケートについて まちづくり協議会で実施したアンケート結果について、全体で151件となった。また、今後は、アンケートの結果の質問7・8・9を中心に、年代別の意見などを分析していきたい。なお、その他意見についても分析を行い、今後、フィードバックをしていきたい。 〔1〕地区集会の時に何を話し合うのかを決めたほうが良い。 〔事務局〕世代ごとに考えていることを検証し、地域活動やまちづくり協議会の活動にフィードバックできるよう、検討をお願いしたい。 〔2〕今回のアンケート結果を基に、若い人と一緒に地域づくりするための方向性を地区集会で聞いたり、新たに繋がっていきたいと思っている。 〔3〕ボランティア活動は長時間拘束されてしまうと感じている人が多いのではないかと。少しの時間でも良いので活動に参加できるよう、ハードルを下げるなどの工夫も今後必要となってくる。 〔事務局〕ボランティア活動の考え方も変わってきている。若い人が負担を感じない地域参加の方法について、結論は出さなくても良いので地区集会で意見交換し確認することが必要である。 〔4〕今までの地区集会に参加する人は50歳代から上の方がほとんどだった。若い人をどのように呼ぶかの議論をしたほうが良い。 〔事務局〕今回の地区集会は、開始時刻を10時30分とし、50人位が集まればよいと考えている。内容は、第1部は任期満了になることから、2年間の活動報告。第2部をどのようにするか。また、前回の全体会において、地域の若い人に来てもらうために、色々な団体に声をかけては。との意見があったことから、団体への声のか

	け方などについて検討をお願いしたい。意見交換の実施方法として、昨年のグループトーク形式やフリーストーク形式、委員が聞いて回る講義形式にするのか良いかなど、方針を決めたい。 前回の全体会の意見として「みんなが参加したくなるまちづくり」という大きなテーマを掲げて、皆さんからの意見を聞くのか、小さなテーマを決め、話し合ってもらおうか。など検討していただきたい。 〔5〕若い世代を限定せず、誰でも参加できる地区集会にしてほしい。自治町内会の参加者も少ないので、自治連定例会で声をかけていきたい。 〔6〕子育て中の親の参加を促すため、地区集会の開催時間中に保育ボランティアを置くなど、気軽に参加できる環境づくりをしたほうが良い。 〔事務局〕保育ボランティアなどもいるため、相談してみたい。 〔7〕アンケートの結果から、地域活動が土日に行ける人、平日しかできない人、親子で参加したい人、子どもが学校に行っている時の時間を利用して活動したい人など、様々なニーズがある。また、責任が生じないイベントの手伝いであれば気軽に楽しく参加し、ボランティアをした感じになることを住民は望んでいいのではないか。今回のアンケートを生かした地区集会にできればと思う。 〔8〕生活環境協議会で平日は仕事をしているので、土日の活動限定で行う役員もいる。地域団体の中でも柔軟に対応できるようにしたほうが良い。 〔9〕アンケート結果の分析は、7番、8番、9番を中心に行っていきたい。地区集会への参加を声掛けする人は、核となる方を数人事前にお願いしてその人を中心に話が膨らめば良いと考えている。
6 その他	6 その他 （1） その他 ① 4月の市長との意見交換会での質問について 湘南白百合学園中学・高校に隣接する水路の水質検査の結果について報告。採取した水から界面活性剤の成分が検出されたが、微量のため直接人体への影響等はないとの結果となった。調査結果書の提供を希望するとのことだが、提供にあたっては担当課の了承が必要なため、後日回答することとなった。 ② 任期満了に伴う令和6年度委員公募について 1月25日号広報ふじさわにおいて、郷土づくり推進会議委員公募の記事が掲載されることを周知した。 ③ ふれあいまつり報告 模擬店の出店結果について。22人のボランティア協力をいただいた。また、おでんの具材を提供いただいた鶴生園に、売り上げの一部を寄付したい旨伝えたと、他の福祉施設へ寄付してほしいとの意向だったため、寄付先を事務局で検討しており、次回全体会で報告する。

	(2) 当面の日程 郷土文化推進部会の日程が12月6日に変更となったことから、資料修正について依頼。他の部会は次第に記載のとおり。
次回までの 確認事項	地区集会の企画（案）の検討、アンケートの検証など
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2023年12月21日（木）午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第９回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２３年（令和５年）１２月２１日（木） 午後６時３０分から午後８時５０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	出席者 １５人（総数２１人） 畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、徳江委員、 飯森委員、吉見委員、藤原委員、小原委員、甘粕委員、阪井委員、 岡田委員、桐生委員、近藤委員、保川委員 市民自治推進課 日原参事、森主幹、野田課長補佐 事務局 幸田センター長、森井主幹、関口、下間、笠原、國松、 吉岡
都市マスタープランの改定に伴う 意見交換 (別紙資料)	〔市民自治推進課〕 片瀬山市民の家再整備について、「片瀬山市民の家再整備ニュース」を基に、現在の進捗状況を含め説明し、意見交換を行った。 重点事項３点①車で来ることができる、②片瀬地区の防災力の強化、③個人でも利用しやすく 〔１〕ニュースについて、昨年９月の第１号から今回の第２号まで時間が開いている。来月１月に、説明会が行われることから、もっと早い段階で情報提供していただければ内容について住民間で検討できた。 〔市民自治推進課〕片瀬山地区の皆さんに対し、中途半端な情報提供とならないよう、計画を練り、正確な情報をお伝えしたいため、このタイミングでのニュース発行となった。 〔２〕他の市民の家とは異なり、車でも利用することができる点などは理解できるが、市民の家を運営する運営委員会に対し、これ以上の負担がかからないよう検討してもらいたい。 〔市民自治推進課〕これまでは、主に建物などのハード面の検討を行ってきた。今後は、他の市民の家で実際に駐車場がある施設の運用状況を参考にしながら、どのようにすれば片瀬山市民の家の運営が円滑にできるかを検討していきたい。施設予約はアナログだが、今後、全て電子で予約できるよう、負担軽減の検討を進めている。 〔３〕新しい片瀬山市民の家完成後、自動的に現在の運営委員会が新施設の運営するのではなく、内容について運営委員会の中で検討し了承が得られれば受けていきたいと考えている。 〔市民自治推進課〕市民の家の運営については、これまでどお

都市マスタープランの改定に伴う 意見交換 (別紙資料)	り、運営委員会と検討していきたい。 〔４〕資料を見ると市有地の半分程度しか敷地がなく、狭い範囲の整備となっている。片瀬山だけの施設ではなく、片瀬地区全体のコミュニティ施設として、これまで防災や子どもたちが自由に利用できる施設などの観点も含め、検討してきたと認識している。地域としては、２階建ての施設となり、１階は、子ども達が靴を履いたまま自由に出入りできる空間で、２階が市民の家のスペースとなることを提言したが、１階建てとなっている。また、整備後の空地となる市有地の活用はどのようなことを検討しているのか。 〔市民自治推進課〕現在の計画では、敷地の約６割を使用することを検討している。提言では、建物２階建てで、地下に防災備蓄倉庫を設置するとのことだったが、市としては公共施設再整備の方針や防災計画などとの整合を図る必要があり、提言のすべてを実現することはできないため、再整備調整会議を開催して提言書を基に調整してきた。その結果、今回のニュースでお示した規模となっている。片瀬山市民の家は、市内にある市民の家で最大の規模となっており、平屋にすることで、バリアフリーへの配慮ができる。 また、土足での運用は、利用後の清掃など、運営委員会の負担増となることから、下駄箱に入れていただく運用としたい。 〔５〕新しく整備する片瀬山市民の家は、片瀬地区全体の施設として、片瀬山市民の家の運営委員だけでなく、地域全体がコミュニティ施設として総合的に運営にかかわっていく必要がある。残った土地の有効活用はどのように考えているのか。 〔市民自治推進課〕残地については、市の中でも活用方法について検討している。 〔６〕会議室が仕切り式になって大きくなるのは良いが、土日に自治会の会議となると同じタイミングで複数回行われることがあり、会議室ができる部屋が少ないと感じる。また、災害時の活用について、配慮を要する人のためということであれば、単独の会議室がもう一つ欲しいと感じた。 〔市民自治推進課〕部屋数について、検討を行ってきたが、これまでの利用実績では、小さい部屋の利用率は高くないため、部屋を大きくして、部屋数はこれまでと同数とした。非常時の防災機能を優先することで市民の家として使いづらい施設になる可能性があることから汎用性を重視した。 〔７〕当初、検討していた規模の１／３の規模となっているが、これ以上小さくなることはあるのか。また、片瀬地区全体として検討した要望が取り入れられていないことから、要望を満たすように計画を進めてもらいたい。 〔市民自治推進課〕これ以上規模が小さくならないようにしていきたい。 〔８〕今後のスケジュールについて伺いたい。
--	---

	〔市民自治推進課〕次月の説明会終了後、市の公共施設再整備プランでは、現在、検討事業位置づけとなっているが、実施事業に格上げするよう、庁内で取り組んでいきたい。令和7年度に工事業者の選定を行い、工事着手、令和8年度中に完了、供用開始の予定となっている。
報 告	3 報告（資料1） （1）前回全体会の報告 議事録の確認 （2）各部会からの報告 配布資料のとおり。 〔青少年育成部会〕1月23日、青少年健全育成部会と公民館が協力し、子ども対象の防災教室を実施した。 （3）各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 1月14日（日）第3回環境映画上映会と講演会を開催するので、ぜひ参加してもらいたい。子どもに参加してもらいたいことから、片瀬小学校の5、6年生、片瀬中学校の全校生徒にちらしを配布した。 イ 青少年育成協力会 2月3日に片瀬中学校でドッジボール大会を片瀬地区在住の小学生を対象に実施することを周知。今後、子どもを対象とした事業等、スポーツの会とも連携し、横断的な事業展開が必要と感じている。
議 題	5. 議題 （1）部会・事業等の総括について（資料2） J J B Cとボランティアセンターの現状と課題について （2）地区集会について 「地区集会に向けた方向性」（資料3） ・アンケートから考える方向性を念頭に置き、意見交換で聞くことを考える。 ・「自治会長のつどい」資料、町内会の好事例から地域活動を考える。“Brillia City 横浜磯子自治会”資料と映像を参考に。 a アンケートについて（資料4） ・検証に係る項目や内容の確認 b 企画について（資料5） ・実施要領（案）、企画（案）、スケジュール等の確認 ・定員数、座席等の確認 ・意見交換の流れ
	（1）部会・事業等の総括について 〔事務局〕 部会の2年間の活動や取組み、課題等について総括を依頼。あ

議題での検討事項・意見

わせて、地区集会での発表やまちづくり協議会としての活動報告書、まちづくり通信などの資料の検討・作成をお願いしたい。1月の全体会では途中経過、2月の全体会で完成に近い状況、3月の全体会で完成し、次年度への課題として残していきたい。

[1] 緑と花いっぱい推進活動は掲載するのか。

[事務局] 市のまちづくり事業として事業を掲載しており、市予算から消耗品などを購入しているので、事業として委員に認識していただきたく掲載している。

[2] 事業の主体は弁天橋花いっぱい愛好会である。以前、まちづくり通信で記事を掲載したところ、団体側から指摘を受けた経過があり、慎重に取り扱わなければならない。

[3] 花植えなどに片子連が団体として参加している。具体的な運営は団体が決めており、団体の活動に協力している状況である。団体としても、きちんと組織されており、まちづくり協議会としては団体の活動に対して口出しができない。市の予算で支援していることは承知しているが、今回の資料に掲載するものではないと感じている。

[事務局] くらし・まちづくり会議の頃から活動を行っており、まちづくり協議会の方も関わり、現在まで事業が続いている認識であることから、記載方法を工夫し、掲載していきたい。

ア 人材・情報バンクセンター運営委員会の現状と課題

[1] 当日配布資料を基に、人材・情報バンクセンターの現状について説明。東京2020オリンピックに向け、ボランティアに対する関心が高まったが、コロナ禍を受け、活動が停滞したことと、ボランティアをしたいと考えている人と、人材・情報バンクセンターの活動が違う方向に進んでいる。ふれあいまつりの運営ボランティアも募集の結果、数人集まったことから、需要がなくなったわけではないが、今後、窓口を閉鎖していきたい。運営委員会として、今後のボランティア情報の発信についてワーキング形式などで検討していきたい。運営委員会などでスケジュールを確認し周知していきたい。

[事務局] 周知の方法やタイミングは、改めて精査していきたい。

[2] これまでのまちづくり協議会の事業は、地域課題が解決されたことを受け、終了しているが、人材・情報バンクセンター事業は、今までと異なり、地域課題が残ったままでの閉鎖となることから、慎重に検討し、より良い形になるようにしていきたい。

イ ボランティアセンターの現状と課題について

現在、まちづくり協議会で実施しているボランティアセンターの片瀬地区社会福祉協議会への移行について説明。福祉ボランティアしおさいが片瀬地区社会福祉協議会の中に入ったことを受け、高齢者の生活支援を片瀬地区社協行うようになった

議題での検討事項・意見	が、事務所の賃借料を継続して支払っている状況が課題となっている。また、片瀬地区内にはさまざまなボランティア組織があり、それぞれ別々に活動していたが、地域住民からわかりづらい状況となっていることから集約していきたい。あわせて、市の補助金を受けるにあたり、複数の団体が同じ施設で活動を行うことはできないため、片瀬地区社協に集約していきたい。ただし、これまでの活動を見直すのではなく、引き続き、現在の活動は継続する方針。 [1] ボランティアセンターと人材・情報バンクセンターの事業は、これまでの経緯はわかるが複雑なものとなっている。人材・情報バンクセンターをボランティアセンターの中に入れればよいのでは。 [2] ご指摘のとおり、片瀬地区のボランティア組織は複雑になっている。しかし、それぞれの機能をそのまま移行することは難しい。人材・情報バンクセンター運営委員会では、個人情報を取扱う現在の様なコーディネートをする人材を置かず、地域の情報が発信できるよう、検討していきたい。 [3] 元々、片瀬地区はボランティア活動が活発であり、福祉ボランティアしおさいは、ボランティアセンターができる前から存在していた。人材・情報バンクセンターについても、設置から10年以上経過する中で、一定の見直しを必要とする時期となっている。このことから、片瀬地区の住民に分かりやすい体制を、片瀬地区社会福祉協議会の中でどこまでできるかわからないが動いていきたい。 人材情報バンクセンターの閉鎖及びボランティアセンターをまちづくり協議会の事業から片瀬地区社会福祉協議会へ移行させることについて了承を得た。 また、事務局から、まちかど相談事業についても同様に、ボランティアセンター運営委員会から、片瀬地区社会福祉協議会へ移行されることから、令和6年度のまちづくり協議会の事業として、4事業に減ることを補足説明した。
議題での検討事項・意見	(1) 地区集会について ア 地区集会に向けた方向性について[事務局] 検討の前に、横浜市磯子区のマンション自治会の活動を好事例として紹介。マンション自治会ではあるが、高齢化や役員の担い手不足などの課題は片瀬地区が抱える課題と共通している。子ども達を巻き込んだ自治町内会活動が有効であり、地域への興味や愛着など、お金ではない報酬として共有していることを説明。 また、先日、実施したアンケートの結果から見えてくる地域住民の地域との関わり方について、1 新たな担い手の獲得、2 地域活動のスリム化、3 効果的な情報提供の3点を地区集会で

	の意見交換のテーマ（案）として設定することについて提案した。 〔１〕自治町内会によっては、コロナ以降、活動を何もしていない地区もあることから、自治町内会に見てもらった方が良いでしょう。 〔事務局〕先日開催された自治町内会連絡協議会の定例会で動画を上映した。 イ アンケートについて 事務局から、問７、８、９について、クロス集計を行った結果、見えてきた特徴を説明。 問７では、若い世代の方は、仕事が忙しく会議に出られないと回答している人が多いが、６０代以上になると、年齢や健康に不安があり、地域活動に関わりたと思わない。という傾向。いずれも、無理のない範囲での活動を望んでいるのではないかな。 問８では、地域美化清掃活動、祭りや歴史文化の継承を支援する活動に参加したいという意見が多く、イベントや単発的な活動に参加したいと思う人が多い傾向となった。 問９では、土日の活動やイベントの手伝いなど、メールやラインなどでの連絡を希望する方が多く、積極的に集まったりしたくない方が多い傾向となった。 補足となるが、問１０で、町内会に関する情報が少ないという意見もあった。 アンケートの詳細は、今後、分析を行い、お示ししていきたい。 ウ 企画について 事務局から、実施要領（案）、企画（案）、スケジュール等について説明。今回は、１テーブル１０人程度とし、５グループを作る予定とし、５０人規模としていきたいことを説明。 〔１〕前回の地区集会は席も近かったこともあり、グループ内の話が聞き取りづらかったことから、別の部屋を活用したほうが良いでしょう。 〔２〕活動報告では、机を並べず椅子のみとし、グループトークになった時に机を設置しても良いのでは。 〔事務局〕グループトークを別室に分けるのであれば、活動報告は椅子のみとし、グループトークの時にレイアウト変更することも可能。全館貸し切りになっているので、柔軟な配置が可能である。また、様々な方に参加してもらいたいのので、チラシが出る前でも構わないので、事前に委員から声掛けをお願いしたい。 〔３〕すでに数人に声をかけて３人出席の了解を得ている。 〔４〕青少協、片子連にも声掛けをしていきたい。お祭り関係は片子連の方を通じて声掛けができればと考えている。 〔５〕スポーツの会の方で祭典委員になっている人がいるので声をかけてみたい。 〔６〕片瀬地区以外に住んでいる人に声をかけても良いのか。
--	---

	〔7〕できれば、片瀬地区内に住んでいる方に声をかけてほしい。 〔事務局〕1月の役員会の時に事前に確認できた人を共有したいので情報提供をお願いしたい。また、グループトークの委員資料について、次回の全体会までに委員皆さんでどのように進めていくかを、予め検討をお願いしたい
6 その他	6 その他 (1) 令和6年度委員の公募について 事務局から、次年度のまちづくり委員公募についての進捗状況について報告。 (2) 都市マスタープランの回答について 事務局から、先月全体会で意見交換が行われた内容についての回答が都市計画課から送付されたので資料配布していることを報告。 (3) ふれあいまつりの模擬店出店について 事務局から、ふれあいまつりで売り上げについて、片瀬学園、まりあ食堂、子供らんど、民生委員児童委員協議会にそれぞれ寄付を行った。また、端数は、ふれあいまつり実行委員会に寄付を行った。なお、食材を提供いただいた鵜生園に対しては、食材提供についてお礼をお伝えしたことを報告した。
次回までの 確認事項	地区集会の企画（案）の検討、アンケートの検証など
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2024年（令和6年）1月25日（木） 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第１０回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２４年（令和６年）１月２５日（木） 午後３時３０分から午後５時３０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１９人（総数２１人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、 小原委員、甘粕委員、阪井委員、岩田委員、岡田委員、 渡辺委員、山口委員、桐生委員、福島委員、近藤委員 欠席者 依藤委員、保川委員 都市計画課 堀田、柏木、板垣 事務局 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、國松、吉岡
開会の前に	片瀬こま保存会から 片瀬こま制作職人の熊野氏が逝去されたことの報告。これまで、熊野氏の自宅にある工房で片瀬こまを制作していたが、今後、自宅も含め解体され更地になる予定であることから、まちづくり協議会委員の中で、制作工房の良い候補地があれば紹介してほしい。また、２月４日に片瀬こまの講演会、３月２０日に片瀬こま大会を開催する予定。片瀬の伝統玩具である片瀬こまを守っていききたいので、ぜひ協力をお願いしたい。
都市マスタープランの改定に伴う意見交換（別紙資料）	[都市計画課] 片瀬地区の防災について、配布資料を基に説明。 [1] 過去、急傾斜対策として整備された擁壁の劣化度の把握などは行っているのか。また、未対策地の調査などは行っているのか。 [都市計画課] 神奈川県が対策事業を定期的実施しており、年１回市の職員も同行しパトロールを実施している。また、昨年度は、片瀬山１丁目付近の工事を実施した。 [2] 災害対策について、自宅が鎌倉市に隣接しており、大災害発生時の行政間の広域的な訓練や情報共有は行っているのか。 [都市計画課] 災害に関して、被害想定等は、それぞれの市で想定しており、想定に基づいた避難計画もそれぞれで策定している。まず、自分の命を一番に考え、適切な避難行動をとっていただきたい。避難生活については、その次の話となる。 [3] 災害発生後の復興についての資料は７ページ以降にある。復

	興イメージトレーニングのワークショップが今年度辻堂地区で実施されるので、結果について情報提供をお願いしたい。
報 告	(1) 前回全体会について 前回全体会の結果について報告。近藤委員から、議事録1ページ[3]「また以下」の記載削除の修正依頼があり、了承した。 (2) 各部会等からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 今後の人材・情報バンクセンターにあり方について検討している。 イ 郷土文化推進部会 1月19日に部会を開催し、2年間の部会活動の総括について意見交換を行った。民俗文化財等継承事業は、引き続き片瀬こま保存会の活動を支援していくことを確認。片瀬江の島歴史文化継承事業は、令和3年度に作成した片瀬歴史マップを活用した事業を実施し、次年度以降も片瀬公民館と協力しながら事業展開をしていきたい。また、過去に江の島道整備事業として整備した箇所の点検を実施している。現在、片瀬地区の今昔について、昭和時代位から写真を保有している委員がいれば、ぜひご提供いただきたい。 ウ 青少年健全育成部会 1月22日に部会を開催し、11月23日に実施した防災事業についての振り返りを行った。子どもの頃からの防災教育が必要であることを再確認した。 エ ボランティアセンター運営委員会 前回全体会で報告した通り、次年度から、ボランティアセンターの運営は、まちづくり協議会の事業から片瀬地区社会福祉協議会へ移行することを改めて説明した。 オ 広報ワーキング 片瀬地区ポータルサイトは適宜更新されている。また、地域回覧をゆっくり見る時間がない方に対して、回覧版に市ホームページ片瀬市民センターのページのQRコードが掲載されたシールを貼り、スマートフォンにブックマークとして登録すればいつでも情報が見られるよう、配布準備を進めている。 ワーキングでは、SNSでの情報発信について検討しており、様々なアプリケーションのうち、Instagramを活用した情報発信の媒体とする方向で検討を進めており、他地区や他市のガイドラインを参考にしながら運用のルール作りをしていきたい。 (3) 各地域団体からの報告 ア 生活環境協議会 1月14日に上映会と講演会を開催し、46人が参加したが、自治町内会から選出された環境部長の出席率が良くなく、本来であれば、講演会での話を、各自治町内会に持ち帰ってもらい、自

	治町内会の活動の一助としてほしかった。また、2月6日に視察研修を行う予定だが、参加者が少ない状況である。今後も人数が少ない場合は、他の地域団体や他地区との合同視察研修とするなど、手法を変えていく必要がある。 イ 子ども会連絡会 1月28日にこどもらんどで節分の豆まきを行うことが報告された。これまではコロナでできなかったが、子ども、大人含めて100人規模の事業となる。 ウ 社会福祉協議会 2月25日にシニアのためのボッチャ大会を、片瀬一市民スポーツの会に協力いただき開催すること、また、ボランティアセンターでは、まなみ薬局の薬剤師を講師に招き講座を行うことを周知した。
議 題	(1) 地区集会について a アンケート集計結果について（資料2） b 各項目の確認（資料3）・ちらし・参加者・意見交換の流れ
議題の前に	[事務局]先月の全体会において、市民自治推進課から片瀬山市民の家の再整備に関する方針の説明を受け、過去、まちづくり協議会の地区集会のテーマとして取り上げた経過があることから、今回の方向性の報告について、まちづくり協議会主催で報告会を行うことについて、ご意見を伺いたい。もし、報告会を実施する方針であれば、3月2日の地区集会終了後に、報告会を実施したい。 [1] 検討会を重ねた結果の提言を受け、市で検討した結果、今回の整備内容となっている。報告会を実施し、出た意見を基に改めて市で検討するのであれば実施しても良いが、現時点では厳しいと感じている。 [事務局] ハード面についての変更は難しいが、運用などのソフト面について利用しやすい施設となるよう検討する余地はある。 [2] まちづくり協議会としては、片瀬山市民の家の再整備に関する情報を提供する場として、地区集会で取り上げた経過はあるが、まちづくり協議会として片瀬山市民の家の再整備対して検討したことはない。再整備に関することは調整会議に委ねているので、市主催で行っていただければ良いのでは。 [3] 地区集会のテーマとして取り上げたのは、調整会議ができる前の話のため、意味ある地区集会となったが、現時点は、再整備の具体的な内容が決まっているため、まちづくり協議会が主催し説明会を行ったとしても、新たな方向に向かわないので、市が主催する説明会で足りるのではないかと。 [4] 片瀬山市民の家の再整備の話が出たタイミングは、東日本大震災の後であり、防災に対する意識が高まっていた時期となるが、コロナにより、検討が一時中断した。再び再整備に向け動き出したタイミングでは、東日本大震災から時間も経過し、防災に

	対する意識も落ち着いたことで、原点に立ち返り、これまでなかった駐車を整備し利便性を向上させる内容で、既存の市民の家の再整備について、調整会議ですり合わせを行ってきた。 〔５〕調整会議が始まった時に再整備ニュースが出され、議論の進展があった際にはニュースを発行することとなっていた。しかし、ずっと情報が出なかったため、具体的な進展はないと思っていたが、１２月に具体的な整備内容のニュースが出され、市民の家運営委員会として、住民への情報発信や共有ができていない状況の中、説明会を実施するやり方に対して不信感を抱いている。 →協議の結果、片瀬山市民の家の再整備に関して、まちづくり協議会としての役割は終了しており、片瀬地山市民の家の再整備に伴うまちづくり協議会主催の説明会は実施しないこととなった。
議題での検討事項・意見	（１）地区集会について a 先日実施したアンケートの集計結果について、委員からご意見をいただき、報告書としてまとめていきたい。 〔１〕アンケートの中に片瀬地区子ども会連絡会が入っていなかった。 〔事務局〕今回のアンケートから漏れてしまった。 b チラシについて、事務局から（案）を作成した。皆さんの意見を伺いたい。 〔１〕片瀬地区の文言を入れたほうが良いのでは。 〔２〕吹き出しに「カムカムエブリバディ」の文言を入れてはどうか。 →協議の結果、「片瀬地区みんなで話そうタウンミーディング」とすることとなった。吹き出しの文言については、事務局で全体的なバランスを見て確定させる。また、チラシは、２月５日の地域回覧便で全戸配布を行う。 〔事務局〕グループトークの資料について、２月の全体会でリハーサルが実施できればよい。また、参加者の振り分けは、参加者が話しやすいよう、所属団体ごとにグループを割り振りしていく。なお、当日に向けての詳細については、２月の全体会に向けて作成していく。また、Ｚｏｏｍ参加者も参加できるようにする。
6 その他	6 その他 （１）令和６年度委員改選の公募及び団体推薦について 事務局から、配布資料を基に説明。公募委員は１月２５日号地域回覧で募集の周知を実施した。また、団体推薦については、１月末に依頼する予定であることを報告。 （２）今後の部会開催日について 今後の各部会の日程確認。 人材・情報バンクセンター運営委員会 ２月１６日（金）１６：００～

	ボランティアセンター運営委員会 3月28日（木）13:30～ 青少年健全育成部会 未定 郷土文化推進部会 2月19日（月）15:30～ 広報事業ワーキンググループ 1月29日（月）10:00～ （3）その他 ア 明治地区郷土づくり推進会議において、辻堂駅東改札前自由通路で能登半島地震災害義援金の募金活動を実施することの情報提供。 イ 片瀬中学校からのアンケート調査について協力を依頼。
次回までの 確認事項	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2024年2月22日（木）午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第11回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年（令和6年）2月22日（木） 午後3時30分から午後5時30分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	21人（欠席6人） 委員：畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、 小原委員、甘粕委員、岩田委員、渡辺委員、山口委員、 福島委員、 事務局 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松
報 告	3 報告 （1）前回全体会について 事務局から、資料について確認を依頼。また、第9回の議事録に修正があったことから、修正後の議事録を配布。 （2）各部会からの報告 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 資料のとおり イ ボランティアセンター運営委員会 福祉ボランティアしおさいのボランティアセンター内への移転の状況について報告。年度末に荷物の運び入れを行う予定。従事者交流会を2月29日に予定。以前は軽食を提供していたが、今回も自粛し開催する。また、ひだまり通信を3月に発行する予定で編集作業を行っている。 ウ 青少年健全育成部会 1月22日は、片瀬公民館と共催し11月に実施した子どもの防災事業の振り返りと今後の方向性について意見交換を行った。子ども一人で被災した場合でも避難行動を取れるようにするという点が抜けていたのではとの意見があった。2月9日には、今後の方向性について検討し、現役のお母さん達の意見などを取り入れるためには、学校の協力も必要との意見があった。 エ 郷土文化推進部会 2月19日は、2年間の活動総括と今後の方向性について検討した。今年度実施した片瀬の橋について、資料の完成度を高め、次年度に一つの大きな歓声物とするための検討を行った。また、片瀬の町並みの変遷が分かるような写真の収集を行っているので、過去の写真を持っている方はぜひ提供していただきたい。

	オ 広報活動ワーキンググループ 回覧板に貼る２次元バーコードの配布について検討を行い、今年度末に配布する予定。また、町内会の掲示板にも二次元バーコードを掲載した貼り紙を用意する。配布当初、回覧版に張る作業などが生じるが、一度だけとなるのでご理解をいただきたい。 公式SNSについて、運用に向けたルールなどを検討し、次年度に運用できるよう、準備を行っていることを説明した。今後、ポータルサイトの更新やSNSでの情報発信の作業が発生してくると思うので、協力員を募る必要がある。 [意見]シールを配るのは良いが、マンションがいくつもある。広報部長からどの様に依頼するのか。回覧板を回すのは班長。相手に合わせてシールやらちらしやらを分けて配ることはできない。 [事務局]配布方法については、広報部長の負担にならないよう検討する。 (３) 地域団体からの報告 ア 片瀬地区社会福祉協議会 「介護の現場から介護を考える」講座を鵜生園のケアマネージャーが来て、介護現場から見た話を行う。 イ 生活環境協議会 当日配布資料の災害ごみのチラシについて、生活ごみと災害ごみの違いや、災害ごみの出し方などについて説明を行った。 ウ 片瀬地区青少年支援フォーラム 片瀬小学校と片瀬中学校の児童生徒を対象に、浪合市民の家で昨年１０月から実施している子どもの居場所事業について周知。学校に行きづらさを感じている子どもや保護者の受け入れを行っている。事業実施に伴う従事者に対しては市教育委員会から謝金を支払い有償で行っている。
議 題	(1) 地区集会について ア 資料の確認 →当日配布資料：次第、事後アンケート、アンケート集計結果（１月全体会配布資料）、 →委員資料：スライド資料、台本、タイムスケジュール、レイアウト図、グループトーク委員資料 イ 参加者の確認 ウ 委員の役割決定：活動報告（澁谷副会長）、アンケート集計結果報告（三觜副会長）、総合司会、受付、案内グループトークの司会、書記（各グループごと） エ 流れの確認

議題での検討事項・意見	(1) 地区集会について 地区集会当日に配布する資料について説明。当日のスライド資料は事務局で当日に向け準備を行っている。現時点で25人の参加申し込みがあり(30歳代から80歳代。うち3人オンライン参加の予定)、委員を含めて総勢50人弱となる。また、手話通訳や保育については希望者がいなかったため、今回の地区集会では依頼しない。 役割分担については、まちづくり協議会の活動報告を澁谷副会長、アンケート集計結果報告を三觜副会長が行うことを役員会で確認しており、総合司会とグループトーク内の司会、書記役等の役割分担を委員の中で決定していただきたい。 (地区集会全体の流れについてスライド資料を基に、概要説明) 概ね10分程度で第1部の説明を終了し、10分程度質疑応答を行う予定となっている。まちづくり協議会全体の質問については、会長、各部会に関する質問は部会長に回答をお願いしたい。 第2部は、三觜副会長からアンケートの集計結果を報告してもらい、グループトークに移り意見交換を40分を行い、意見交換終了後、各班から5分程度発表してもらい、最後、全体的な質疑応答を行い、概ね2時間で地区集会を終了する。 今回の地区集会では、何かの方針や結論を出すものではなく、たくさん意見を出してもらい、次年度の活動テーマや今年度の活動報告に含めていきたい。なお、参加者からのアンケート回収にも協力をお願いしたい。 [1] 民生委員は同じグループに複数人ではなく、各グループに最低1人ずつの配置にしてほしい。 [2] 青少協から参加する西江氏、折原氏のグループは分けても良い。 [3] グループ分けについては、前回の全体会で地域団体の中である程度まとまったほうが話しやすいということだったので、その様に配置している。当日に向けて追加などがあることが想定されることから、適宜調整していきたい。また、総合司会は、役員の会副会長をお願いしたい。また、各グループの司会進行役と書記役については、当日に決定でも構わない。 [事務局] 役員は必ず各テーブルに入っていただきたい。また、男女比も各グループ偏りがないように調整していきたい。 [4] 参加者を全体的にみると、これまで地域活動している方が中心となるので、アイスブレイクはせず、簡単に自己紹介していただくことでも良いのではないかと。 [5] 地域団体に入っていない方からの話をたくさん聞いてもらうようにしたほうが良い。 [6] 参加している人の中には、団体には属していないが、クリーンキャンペーンなどに参加している人もいることから、地域団体をしているから団体に属するという考えを持たないほうが良いので
--------------------	--

	はないか。 〔7〕地域の色々な関わり方あると思うので、どういう形で地域活動に加わっていますか。と聞けば、団体に属している人、いない人もどちらも個人として答えてくれるはず。 〔8〕片瀬がどんなまちになって欲しいか。また、心配になっている点や課題となっている点等、思っていることを聞いても良いのではないか。 〔9〕参加者に問題点を話してもらうのか、自分のことを話してもらうのかの2点が会話のきっかけとなると思う。 〔10〕日常生活の中から感じていることを聞いた方が良い。 〔11〕参加者全員に話してもらえるよう、司会がきちんと進行してもらいたい。 〔12〕今回声掛けをした方は、新しい目で私のことを見てくれると思う。 〔13〕今回のテーマを中心に話をしてもらい、終了5分前に司会者がまとめてもらえれば良い。 〔14〕アンケート結果の質問7, 8, 9に記載の項目を中心に質問すれば良いのか。 〔15〕テーマに沿った内容を中心に話をしてもらい、もし、話がずれてしまった場合は、司会者が適宜方向修正をしていただきたい。 〔16〕グループトークの中での悩み事などは聞きっぱなしでも良いのか。 〔17〕地区集会に参加する人は何かの結果を求めている。地域活動の参加方法等、グループトーク内でアドバイスして解決できることであればその場で伝えても良い。もし、その場で解決できないのであれば、後日解決方法を伝えるなどすればよい。 〔18〕まちづくり協議会は、地域の将来のことについて話し合う場であり、個人の悩み事などを解決する場ではない。 〔19〕より良いまちづくりをするためのトークであるので、10年20年後の姿などを見据えてトークをしてもらいたい。 〔20〕アンケート結果から見えることは、当日のスライド資料にも記載されている。 〔事務局〕たくさんの参加者から、色々な意見をいただきたいので、参加者の考え方を誘導させるような表現となっているのであれば修正したい。
6 その他	6 その他 (1) まちづくり通信第45号について 事務局から、地区集会の結果なども踏まえ、3月31日の発行予定。 (2) 今後の部会開催日について 全体会及び各部会活動の日程を報告 J J B C 3/19 (火) 17:30～

	ボランティアセンター運営委員会 青少年健全育成部会 郷土文化推進部会 広報WG	3/28（木）13：30～ 未定 3/18（月）15：30～ 未定
次回までの 確認事項		
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2024年（令和6年）3月21日（木） 午後6時30分から 場所 片瀬市民センター ホール	

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和５年度 第１２回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２４年（令和６年）３月２１日（木） 午後６時３０分から午後８時２０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：１７人（総数２６人） 出席者：畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、 甲斐副会長、徳江委員、飯森委員、阪井委員、藤原委員、 小原委員、甘粕委員、渡辺委員、福島委員、岡田委員、 桐生委員、近藤委員、保川委員 都市計画課 堀田、柏木、板垣 事務局 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、國松、吉岡
都市マスタープランの改定に伴う 意見交換 (別紙資料)	片瀬地区の景観・まちづくりについて都市計画課から説明。 意見交換を実施。 〔１〕次の項目について質問したい ①この２年間で何か変わったことや都市計画の変更など動きがあるか。 ②藤沢市の人口は増えているが片瀬地区の人口減少に対してどのように捉えているのか ③国道４６７号線の渋滞解消に向けた考え方は ④片瀬山公園の再整備について ⑤空き家対策についてどのように取り組んでいるのか。 〔都市計画課〕回答については次のとおり ① この２年では、特に動きなどはない。 ②いずれは人口減少社会が到来すると言われている。片瀬地区の人口減少は自然減となっているが、どのように維持していくか。観光面を含め、人と交流し増やす取組みをしなければならぬ局面に来ていると考える。 ③国道４６７号線の渋滞は、神奈川県が進めている横浜藤沢線の整備が完了すれば渋滞解消が期待できる。 ④片瀬山公園の再整備については、都市計画法では風致公園に位置付けられており、自然を生かした公園の整備を行うようになる。計画上は、現在供用されている範囲よりも広く、また、現在の公園の土地に借地も含まれていることから、将来的に整備を進めていきたいと考えている。 ⑤空き家対策は計画を立て、住民からの連絡をいただき管理不

	全の空き家 の解消に努めている。また、空き家を増やさないために一番大切なことは、空き家とならないように啓発のイベントを実施したり、賃貸などの利活用などがあげられるが、所有者の荷物の片づけができないことなどが課題となっており、NPO法人が片付けを手伝う場合もある。空き家の課題は全国的な課題となっており、終活に向けた準備など、福祉部門との協力も必要である。 〔2〕 建築協定の変更や廃止などについて伺いたい。 〔都市計画課〕 建築協定の内容を変更する場合、協定を締結している所有者全員の同意が必要となる一方、廃止する場合は、半数の同意があれば廃止することができる。 〔3〕 新屋敷橋から片瀬中学校までの区間の街路樹が伐採された経過を伺いたい。自治町内会にも連絡がなく突然伐採されてしまった。 〔都市企画課〕 伐採の経過は把握していないため、道路維持課に確認し回答したい。道路維持課で街路樹の植え替えを検討しているのではないか。 〔4〕 現地で作業している業者に確認したところ、幹が空洞になっている樹木があるが、空洞になっていない樹木もある。伐採された北側は、西日が当たり、日よけの役割も果たしていた。自治町内会に説明がないまま伐採されてしまった。 〔都市計画課〕 街路樹については、台風などで倒木しないよう、定期的に樹木医の診断を受けている。街路樹はおそらくユリノキであり、樹木としては弱い部類に入る。いずれにしても確認して回答したい。
報 告	4 報告 (1) 前回全体会について 前回全体会の結果を報告。修正等があれば事務局まで。 (2) 各部会からの報告 議題(2)で協議することから割愛。 (3) 地域団体からの報告 ア 片瀬山の防災体制について これまで防災は片瀬山防災会が中心となり行っていたが、次年度から、片瀬山の1丁目から5丁目の自治会が取組むこととなった。 片瀬山3丁目では、災害発生時の自宅での備蓄用の飲料水について、やまかに協力を依頼し、自治町内会で取りまとめして購入することとなった。飲料水の受け渡しについて、体の不自由な高齢者などで困難な場合に、子ども会と協力し、子どもと保護者が代金を預かり、代理で購入して届ける取組みを行い、高齢者の方に喜んでもらえた。今後は片瀬山1丁目も実施する予定。片瀬山まちものがたりのホームページに掲載されている。 イ 片瀬・市民スポーツの会 3月9日に片瀬しおさいセンターで、スポーツ体験会(ボッチャ、

	ストラックアウト、ラダーゲッター)を実施した。子ども16人、大人16人の参加となったが、想定よりも人が集まらなかった。参加賞として地区レクリエーション大会中止の際の景品を配布した。回覧周知だけでは参加者が集まらないので今後、工夫する必要がある。次年度は、ボウリングの事業を計画しており、多くの人が集まる企画としていきたい。
議 題	5. 議題 (1) 地区集会報告について (2) 部会・事業の継続等について (3) 2年間の振り返り(委員から一言)
議題での検討事項・意見	(1) 地区集会報告について[事務局] 地区集会の開催結果について報告を行い、感想や課題点など意見交換を行った。地区集会に参加した人からは、テーマが広すぎるため、もっと絞ったほうが良いなどの意見があった。ホームページにはもっとわかりやすくまとめた内容で公開したい。 〔1〕時間が短くなってしまったので、深い話はできなかったが、片瀬に引っ越してきた理由などが聞けて良かった。 〔2〕まちづくり協議会の委員自体が30代、40代で地区集会に来てもらうよう、お願いできる人がいないことが分かった。地域団体の活動は何十年も実施しているが、若い世代の知り合いがいない。気軽に声を掛けられるようになる必要がある。 〔3〕有償ボランティアについての意見がグループトークで出た反はあるのか。アンケートの報告書の吹き出しに有償ボランティアについての記事が掲載されている。 〔4〕グループトークの時間が短く具体的な話ができなかった。 〔5〕まちづくり協議会に自治町内会から一人ずつ出る案はなかったのか。自治町内会の役員選出の際にくじ引きとなり決定されている。若い人が町内会代表として出てくる可能性はある。 〔6〕これまでは、地域団体の代表と公募委員による構成となっている。意見として承る。 〔7〕自治会では、長年、同じ人が役員をする場合がほとんどであり、高齢化が進んでいる。地区集会で同じ班になった人は40代の人で、様々な知識を持っていた。そういう人にまちづくりを担ってもらいたい。 (2) 部会・事業の継続等について[事務局] 各部会から報告後、各部会等の課題及び今後について説明。まちづくり協議会発足後10年が経過する中で様々な課題もあり、見直しの時期に来ている。4月以降、課題の洗い出しを行い、新たな部会活動につなげていきたい。 公募委員について継続する2人の他に新規4人。また、団体選出

	委員については、すべての団体から選出されていないので、4月以降、適宜委嘱しまちづくり協議会の活動に参加していただくこととなる。 ア 人材・情報バンクセンター運営委員会 資料に記載のとおりとなり、今後については、次年度に引き継ぎすることとなったことを説明。 イ ボランティアセンター運営委員会 これまでまちづくり協議会の事業として居場所ひだまり、ミニ講座の開催、かたせにこにこ広場の開催、編み物教室、スマホ教室、小学生の学習支援事業などの居場所事業を実施してきた。また、まちかど相談事業として、子育て相談や高齢者相談を実施していたが、次年度は片瀬地区社会福祉協議会が実施することとなるが、運営母体が変更となるだけで、実施する内容は同じとなる。 ウ 青少年健全育成会 子どもの防災について継続して協議したい。また、4月から新たな委員からの意見をいただき課題等検討していきたい。 エ 郷土文化推進部会 民俗文化財等継承事業については、片瀬こま保存会の活動の継続支援を行っていききたい。ただし、片瀬こまの作り手が先日逝去し、敷地内にあった製作工房が撤去される可能性もあることから、活動場所について検討する必要がある。片瀬餅つき唄については、現在、保存会の活動が行われていないことから考えていく必要がある。また、片瀬・江の島歴史文化継承事業は、片瀬江の島の写真を集め、分類収集し、一冊の本にまとめたいと考えている。 オ 広報事業ワーキンググループ SNSを活用した情報発信を検討していきたい。 カ 緑と花いっぱい推進活動事業 弁天橋花いっぱい愛好会の活動支援を引き続き側面的に継続していきたい。 〔意見〕郷土文化推進部会の活動は片瀬地区にとって大切な部会である。古き良き文化と伝統と新しい文化をうまく両輪となるようにしてもらいたい。 （３）２年間の振り返り 今期で退任される委員からこれまでの活動についての感想などをいただいた。また、畠山会長から総括と２年間の活動に対してお礼を伝えた。
--	---

6 その他	(1) まちづくり通信第45号について 原稿の修正等について22日午前中までであれば修正可能。 4月10日号で全戸配布する。 (2) 活動報告集 現在編集中であり、年度末で数字等が確定したのち、印刷・製本し、配布する。 (3) 今後の日程 委嘱式・市長との意見交換会・全体会を4月11日(木)午後3時から片瀬市民センターホールで実施する。
次回までの 確認事項	片瀬中学校までの区間の街路樹が伐採された経過を確認後、報告。
次回会議 開催日時・場所	委嘱式、市長との意見交換会 日時 2024年 4月11日(木) 午後3時00分から 場所 片瀬市民センター ホール 終了後、第1回全体会